



ECHO

エコー誌

Mar. 2015

ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区

NO.518

<http://www.lc331-a.jp>

本誌は世界最大の奉仕団体ライオンズクラブの地域情報誌です

LIONS QUEST
A Program of Lions Clubs International Foundation

LIONS QUEST

ライオンズクエスト
思春期のライフスキル教育プログラム
◆
2015札幌ワークショップ
フォローアップワークショップを
終えて



ライオンズクエスト プログラム認定講師
篠田 康人氏によるワークショップ

第2回

障がい者 雇用促進セミナー



～その出会いが顧客と企業を変える～

地区障がい者雇用促進委員長 L三戸部 隆

ライオンズクラブ国際協会 331-A地区

リジョン 特集

[3R]札幌ポブラ・札幌リパティ・札幌スノートピア・札幌東・札幌トラスト・札幌ライラック・札幌はまなす・札幌新星・
[5R]滝川・芦別・赤平・新十津川・滝川中央・砂川・奈井江・そらち・滝川グリーン・深川・沼田・秩父別・雨竜・北竜

クラブ報告

4R1Z岩見沢はまなすLC・1R3クラブ合同(サッポロシニア・札幌中央・札幌オーロラLC)
1R1Zサッポロシニア・1R1Z 2クラブ合同(サッポロシニア・札幌コスミックシニアLC)

ライオンズクラブ国際協会 331-A地区 第5R 第1Z

芦別ライオンズクラブ

〒079-1371 芦別市上芦別町22番地 山林 ひとみ宅内

TEL 0124-23-0088 FAX 0124-23-0385

http://www.11.plala.or.jp/ashibetsu-lc E-mail a-lc5riz@cameo.plala.or.jp

会長スローガン

「地域に根ざした奉仕の輪」



献血活動、薬物乱用防止キャンペーン街頭啓発など地域のイベントに密着した意義のあるアクティビティーに努めています！

31回目の青少年育成資金造成パーティーを開催し芦別市、盲導犬協会への寄付をさせて頂きました。



今年2回目となる青少年健全育成事業である「芦別ライオンズ杯 青少年剣道大会」数多くの小中学生に参加頂き、団体戦、個人戦で元気に戦っていただきました。

(2015年2月1日 芦別市なまこ山総合体育館内)

会長 定田 明

幹事 戸邊 信一

会計 柳瀬 広道

(アイウエオ順)

L相河孔明	L浅井富雄	L伊藤輝雄	L伊藤良作	L石黒政司	L池田 昇	L浦山和雄	L請川勝也	L大山義広	L尾矢 茂
L兼好哲哉	L川村伸一	L梶野秀雄	L加藤 穰	L郡 奈美雄	L今野富男	L小林孝二	L小塚弘昌	L小室一征	L坂井哲太郎
L斉藤勝美	L坂本恭二	L佐藤昭夫	L定田 明	L東海林俊道	L滝沢 和	L高瀬敏光	L高砂晴紀	L田森良隆	L高橋勝次郎
L高島義勝	L滝澤量久	L竹村賢一	L千葉義明	L戸邊信一	L中川栄子	L西本勝昭	L沼田哲男	L野崎光男	L橋爪忠幸
L林 守	L早坂昌文	L樋口 肇	L日山 晋	L藤元 博	L藤岡慎吾	L本保 覚	L松川良一	L松田春美	L水上博樹
L水上英二	L山本 隆	L柳瀬広道	L吉岡隆広	L吉井 忠					(事務局員) 山林ひとみ

第3回キャビネット会議



第3回キャビネット会議が2015年2月9日(月)に、京王プラザホテル札幌にて開催されました。

2月の札幌にしては、比較的暖やかな天候の中、三澤キャビネットの役員の皆様が大勢参加して頂きました。



地区ガバナーL三澤聖二(札幌新星LC)の開会宣言、並びにゴングの後、出席者の紹介、地区ガバナーL三澤聖二の挨拶がありました。

今回は、元国際理事のL杉本忠夫(札幌ライラックLC)からの、これからの日本のライオンズクラブの方向性とポイントのお話も頂き、報告事項へと順調に進行して行きました。

続いてライオンズクラブ国際協会創立100周年記念奉仕チャレンジ事業

のお話が、百周年記念地区コーディネーターのL柏崎昭朗よりありました。



会議要録のP130からP131に詳しい説明がありますので、皆様にも御読みたいところです。

審議事項も順調に終わり、懇親会へと会場を移りまして、会議受付にて抽選いたしました席へと着席、和気藹々と食事とお酒と談義に花を咲かせておりました。

ゲストスピーチでは、元地区ガバナーL宮脇寛海(恵庭LC)からの暖かい思い出のお話を頂き、前地区ガバナーL小野寺眞悟(札幌北の杜LC)からは、いつもにも増して、笑顔とわかりやすいスピーチを頂きました。

キャビネット副幹事のL上諏訪充史(札幌新星LC)の軽快な司会のもと、懇親会も無事終了致しました。

地区PR・ライオンズ情報委員長 L前山 忠



アラートフォーラム



1月29日、滝川市「マリアージュ・インベルコ」において、柏崎昭朗第二副地区ガバナーをはじめ、地区キャビネット役員10名、クラブ登録者25名の参加のもと、第2回アラートフォーラム「今一度LCの危機管理を考える」を開催いたしました。

当フォーラムでは、北海道総務部危機管理対策局危機対策課長 谷内浩史氏から北海道で起きた災害の解説と地域社会の防災活動報告の講演、東日本大震災におけるLCの支援活動のDVDの視聴に続き、LCアラートの現状報告や具体策の説明及び質疑応答を行い、今後の支援システム（＝地区ライオンズALERT計画）構築に向けて意義のあるフォーラムとなりました。

昨年12月13日、331-A地区アラート委員会を訪問させていただき、東日本大震災被災地のLCの被災支援事業やALERT計画の現状等の貴重な意見を伺ってきました。

同委員会の案内で石巻市及び女川町の被災地を訪れ、3年9か月を経過しても大きな傷跡が残す津波被害の恐ろしさに驚き、街灯もない山間の

地区ライオンズアラート委員長 L能澤 正明
地区ライオンズアラート副委員長 L今村 尚司

仮設住宅で家族を亡くした入居者が身を寄せ合って暮らしていることに心を痛めました。

自然現象である災害は何時何処で起きるかわかりません。自分が、家族が、仲間が、被災者になる可能性があるものです。災害を止めることはできません。被災地（者）を支援することや被害を抑えることはできるはずですが、

次年度は、これらを計画すること「地区ライオンズALERT計画」策定への取組みを本格化させることになり、ますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



さっぽろ雪まつり期間の献血呼びかけ協力について

地区献血・
視力保護等教育活動委員長
L 伊藤 政信

さっぽろ雪まつり会場にて331-A地区在札39クラブのメンバーが7日間の献血呼びかけに全力を挙げました。アクティビティには、予定数を超える336名の出席者となりました。寒い中お疲れさまでした。
献血量は310ℓで過去5年の平均献血量となりました。



北海道赤十字血液センター
献血推進二部 推進課
富山様

「雪まつり」献血における
ライオンズクラブ
国際協会331-A地区への
お礼と今後の
お願い。



ライオンズクラブ国際協会331-A地区（在札クラブ）におかれましては、例年通り、献血の呼びかけ支援と会員および会員企業の関係者による個人献血、そして10万円分のホットドリンクをご提供いただいたことに深く感謝申し上げます。

さて、期間中は季節はずれの降雨もあり

献血への協力が得られにくい環境でしたが、その中でもライオンズクラブ会員の皆様が懸命に呼びかけていただいたお陰により、昨年よりも74名多い782名の方々に献血のご協力をいただくことができました。

例年、冬期間は風邪やインフルエンザで体調を崩す方が増加して献血の協力が減少いたします。そのため、慢性的に血液不足となるこの時期に実施される雪まつり献血は、医療機関へ安定的に血液製剤をお届けするため必要不可欠となっております。

今後ともライオンズクラブの皆様におかれましては、輸血を必要としている患者さんの命を繋ぎとめるために、献血活動へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



国際協会 331-A 地区
 スキル教育プログラム」WS&FIIPWS
 /1 @かでの 2・7



「思春期のライフスキル教育プログラム」
 冬季ワークショップ&フォローアップワークショップを終えて

冬季ライオンズクエストワークショップの3日間が無事終了しました。

開会の挨拶では、三澤ガバナーが青少年育成に関する熱い思いを先生方へお伝えし、3日間のプログラムのスタートを切りました。

今回、ワークショップには37名(札幌市内21名岩見沢等市外から16名)、ワークショップフォローアップは5名(市内4名市外1名)の皆様にご参加いただき、篠田講師のリードの下、意欲あふれる先生方といへん有意義な時間を共有できた三日間となりました。

篠田講師には、参加者の反応を見ながら軽快にプログラムを進めていただきました。スタートでは全員の顔が見える大きな輪をつくり、自己紹介を兼ねた話題でお互いを知ることからはじめます。動くこと話すことで一体感も生まれ、先生方からも次第に笑みがこぼれます。次にグループに分かれテーマについて意見を交え、それ

地区ライオンズ
 クエスト委員長
 地区ライオンズ
 クエスト副委員長
 直樹
 玲子



を模造紙を使って表現。生徒役の先生方も役割分担もスムーズで無駄がありません。クエストの内容理解はもちろんです。先生方の交流の場にもなり情報交換にも一役買うことができたようです。



参加されたある小学校の教頭先生からは、ライフスキル教育を授業に組み込んでいこうとするならば、学校毎にワークショップを開催してもらうことが理想かもしれないというご意見をいただきました。しかし現実問題として全員同時には時間がとれないので、今後は若手の先生を毎回参加させる意向とのこと。また、どのように授業を進めたらよいかがこの模擬授業でわかり、教材を大いに活用するとの言葉もいただきました。

すでに他の地域ではクエストのプログラムを導入したモデル校が誕生していますが、北海道にはまだありません。ぜひ誕生することを期待しています。

昨今、青少年が引き起こした事件事故は後を絶ちません。今の子供たちがやがて社会へ出てきたとき、思い通りにならないことがあったとしても、それをじょうずに乗り越え、考えて行動できる人になつてもらうためにもライフスキル教育の導入は必要です。参加者からは「自分と同じ立場の先生である篠田講師の進め方に感動した」という感想も多数いただきました。



ました。この成果を教育現場にて実
活用して成果を上げることが切に
願うとともに、更にこの輪を先生方
の間でも広げてもらい、次のレベルへ進ん
でいってほしいと思います。
ご参加いただきましたライオンの
皆様、そして運営に携わっていただき
ましたライオンの皆様、誠にありがと
うございました。これからも各クラブ
のライオンの皆様には一層のご協力を
賜わり、普及させていくことをお願い
申し上げますと致します。

2015札幌ワークショップ・フォローアップワークショップを終えて

ライオンズクエストプログラム認定講師
篠田 康人 氏



姿がプログラムを味わった参加者に彼らが求める姿として印象的に映るためです。ライフスキル教育の目指す「あなたといて良かった、といわれる人になるう」のモデルとして見えるからです。



今年も新年初のワークショップを北の大地・札幌で迎えられたことに心から感謝いたしています。子どもを育成していく様な環境で、今まで意識されていなかったライフスキル教育にスポットが当たりはじめた近年、全国で年間100回以上のワークショップが展開されるようになってきました。そのスタートを毎年札幌で札幌のライオンズの皆様と過ごさせていたことで、今年一年、理想的な開催の仕方である札幌でのライオンズクエストワークショップの姿を各地に届けたいと再認識いたします。

理想的と申しますのはワークショップ2日、フォローアップ1日の計3日間を支えてくださっているライオンズクラブの皆様のお

参加者の多くの方が終了時にライオンズの方々に感謝のメッセージを送っています。それを直接お話しになることもあれば、感想に書かれることもあります。後日クラブの例会に招待され、お話しされたこともあります。だれもお世話いただいたライオンズの方々にライフスキルを見出していることが分かります。「ライオンズの皆さん皆さんといて良かった、会えて良かった」と感じていることが表れています。

ライフスキルの習得を自然な形で提案していくクエストという名のプログラムの実践演習がワークショップの期間中、バイスタンダーで見守ってくださるライオンズの方々と共に展開できることに大きな意味を感じます。これこそ全国各地に知らせたいと

思うところです。

参加者の方から多く聞く言葉に、ライオンズの方から「人を受け入れること」即ち「受容」を感じる、があります。先を考えた「心配り」もよく聞きます。もうひとつ、「私は...と思う、感じる、こうあつてほしい」といった表現が心地よく聞こえるという声もあります。決して「あなた...しなさい...だめ」でなく、自分のメッセージを発するように心がけていることが感じ取られているようです。ここにこそライフスキルという技が入っています。ワークショップで私からライフスキルの案内を受け、その具体的な姿をお世話していただくライオンズのメンバーの皆さんからモデルとして示される。そんな理想的なスタイルで実施される札幌でのワークショップは、全国に誇れる姿です。

年2回の開催に向けて半年以上前から参加者を募るために教育現場だけでなく、子どもを支援する立場におられる方のもとへ足を運んでくださったり、過去の参加者へ次に紹介していただく方を伺いに行ったり、また学校だけでなく対人関係を大事にするあらゆる働く環境へライフスキル教育の効果を紹介しに行ってくださいることを今回もありがたく感じ取らせていただきました。

ライオンズクエストプログラムは学校の先生や子どもたちのためだけにあるものではありません。だれにも効果がある、上手

に仲間と活動していくためのワクチンです。これからもライオンズのメンバーの方々、出来るだけ多くの方々に世話話いただければ、ライオンズの皆さんに良さを味わっていただくことが可能かと思えます。

そして紹介いただけるワークショップ参加者を介して子どもたちに上手な生き方、自分の中から自然に生まれる「前向きさ」を求めていきましょう。

お正月に撒いた種が、春とともに芽を出してきます。その実りが夏には新しい土地を運んできてくれます。そこにまた種をまきましょう。秋は、きつと豊作です。ことしも素敵なスタートを切る事が出来ました。

応援に来てくださった三澤地区ガバナーはじめ関係ライオンズの皆様、いつも裏で支えてくださるキャビネットの皆様、歴代のクエスト委員の皆様、ライフスキル教育に賛同して下さる多くの方々に、この場をお借りし心から感謝申し上げます。ありがとうございました。次回の夏のワークショップでさらに前進しましょう。



第2回「障がい者雇用促進セミナー」

地区障がい者雇用
促進委員長

L三戸部
隆



平成27年2月23日、京王プラザホテル札幌を会場にして今期第2回目の「障がい者雇用促進セミナー」を、三澤聖二地区ガバナー、小野寺眞吾前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長をはじめとするキャビネット役員の皆様と、それに各クラブ出席者と一般参加者を加え、総勢60名を超える方々の出席をいただき予定どおり開催することが出来ました。

今回は、「障がい者雇用とは」というテーマを主要なテーマとした第1回セミナーを踏まえて、実際積極的に障がい者を受け入れている企業の雇用の現実や実態を報告いただき、その問題点や課題について参加いただいた皆様が共通の理解を深め、障がい者雇用に向けての最初の一步を踏み出すことを容易にするということがねらいでありました。

そこで、講師には北海道中小企業家同友会札幌支部障がい者問題委員会委員長の斎藤規和氏(株式会社シムス代表取締役)をお招きして、「障がい者雇用に取り組む二経営者の思いと課題」というタイトルで基調報告をお願

いたしました。

この中で斎藤氏は、「実際に障がい者を雇用することは簡単なことではないが、その出会いが経営者を変え、従業員を変え、顧客からの信頼を得ることによって企業を変える。」ということで、極めて示唆に富む内容でありました。

引き続き行われたパネルディスカッションにおいても、障がい者を雇用しているお二人のクラブメンバーとメンバー以外の企業からの併せて三本の事例発表があり、充実した内容のセミナーとなりました。

おわりになりますが、セミナー開催に当たりましてキャビネット役員各位のご理解とキャビネット事務局のご協力が心より感謝申し上げます。「We Serve」の精神に基づき本委員会の所期の目的がそれぞれのクラブの活動に反映されることをご期待申し上げます。



第二回 国際 平和ポスター！ コンテスト」を実施

地区平和ポスター・コンテスト委員長 **L山崎 晴生**
地区平和ポスター・コンテスト副委員長 **L松村 芳明**



1月9日(金)札幌市教育文化会館に於いて、地区ガバナーL三澤 聖はじめ、地区役員6名及び、今回応募校に関係の深いサツポロシニアLC、札幌コスミックシニアLCの会長、幹事にも出席して頂き「第3回国際平和ポスター・コンテスト」表彰式を開催いたしました。

L山崎 晴生委員長の開会の辞で始まり、L三澤 聖地区ガバナーのご挨拶のあと、引き続きガバナーより賞状、L山崎委員長より副賞が授与されました。最優秀賞には、札幌市立手稲中学1年 紺野 遥楓さんに輝き「とてもうれしい、これからもたくさん絵をかきたい」と笑顔で話していました。

この作品展示会は、1月12日(月・祝)より18日(日)迄1週間くらいつくぎやらしい(道銀本店ビル1階)で開催しました。期間中來場者は115名で、各々にパンフレットをライオンズロゴ入り封筒に入れて、少しでもライオンズの宣伝になればと思いい手渡ししました。

このコンテストの準備には大変苦労しました。先ず331-A地区管内の小・中学校長宛に作品応募の案内、後援6団体への訪問、承認取り付け、表彰式会場、展示会場の選

定、設営、パンフレット、チラシ、横断幕の作成等の準備をし、応募作品の選考には、北海道教育大学岩見沢校美術専攻 阿部 宏行准教授にお願いし、選考結果は直ちに学校へ通知、表彰式に出席されるよう要請しました。当日は、悪天候、インフルエンザ流行にも拘わらず、受賞者18名中14名、教師、父兄など20名が出席しました。

表彰式、展示会場に、北海道新聞記者が訪れて記事にまとめ、1月14日付夕刊に大きく掲載されました。一般世間向けに我々ライオンズクラブの活動が少しでも周知され、理解される契機になればと思いました。未だ、この「ポスター・コンテスト」は3回目ですので今後、創意工夫して、応募校、作品数の拡大をめざして努力していかねばと痛感した次第です。





地域社会の子どもたちと共に、 平和、寛容さ、国際理解を協調する。

過去25年に100ヶ国近くから400万人以上の
子どもたちがこのコンテストに参加。



「私たちの世界、 私たちの未来」



入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	優秀賞	優秀賞	最優秀賞
守實 愛絵 札幌市立手稲中学校	吉田 敬子 札幌市立手稲中学校	杉下 智香 札幌市立手稲中学校	小野寺 沙記 札幌市立手稲中学校	渡部 麗奈 札幌市立手稲中学校	佐藤 千愛 札幌市立手稲中学校	斉藤 凜花 札幌市立手稲中学校	藤野 奈奈 札幌市立中の島中学校	左右田 恵利 札幌市立中の島中学校	関根 更 札幌市立中の島中学校	関 水袖羽 札幌市立中の島中学校	淡路 玲奈 札幌市立中の島中学校	橋本 優真 札幌市立中の島中学校	山縣 亮太 札幌市立石山南小学校	澤田 志帆 札幌市立向陵中学校	久留嶋 彩 札幌市立中の島中学校	鳴海 遥 札幌市立石山南小学校	紺野 遥楓 札幌市立手稲中学校

外来種『アライグマ』問題 ～生物多様性の危機

地球上には推定3,000万種もの生き物がお互いにつながり合いながら生きています。

このように、たくさんの生き物がいて、それらがつながり合っている事を「生物多様性」といいます。

私たち人間は水や空気、衣食住など生物多様性から様々な恵みを受けて生きていますが、その一方で私たちが人間の影響により、1年間に4万種もの生き物が絶滅しているといわれています。失われつつある生物多様性は、現在、温暖化と並ぶ深刻な地球環境問題となっています。生物多様性の喪失の原因の一つに、「外来種」の問題があります。

「外来種」って
知っていますか？

もともといなかった地域に人為的に持ち込まれた生き物を「外来種」といい、外国から持ち込まれたものも含まれます。外来種の中には在来種を駆逐し、その生態系に大き

な被害を及ぼす「侵略的外来種」もあり、各地で問題となっており、一度持ち込まれた外来種を排除する事は困難です。

『アライグマ』



今回取り上げた外来種の中でアライグマの被害の拡大を知って頂きたく、問題にいたしました。(公益財団法人日本自然保護協会会報『自然保護』2000年10月号No.450)P3～9より引用)

札幌近郊に広大な森林が広がる野幌森林公園。野生化したアライグマの調査を行う池田透さん(北海道大学院文学研究助手)に同行した。池田さんが近くの木を指して言う。「アライグマはきのうをすみか

地区国際関係委員長 L 原 孝男
地区国際関係副委員長 L 石黒 諒
地区環境保全委員長 L 干場 輝明

や巣にするので、この木は前年までフクロウが営巣していたのを追い出してしまいました。また、アライグマが繁殖したことで、アオサギが営巣を放棄して97年迄にコロニーが消滅してしまいました。アライグマは鳥のひなや卵を食べるのです。放たれたり逃げ出したペットのアライグマが、北海道の生態系に影を落とし始めている。

最初は、恵庭市を中心に自然繁殖したと推定されるが農業被害が出て表面化し、今では札幌市や江別市・千歳市・北広島市まで生息域が拡大している。アライグマを見かけるようになると、決まってキツネやタヌキの姿が消えたという報告がある。田んぼのカエルの声も聞かなくなつたという。(中略)アライグマは原産地の北米では、住宅街から森林地帯迄広く生息しており、雑食性で、手先が器用で木登りが上手、しかも学習能力がずば抜けて高い。また、シカに匹敵する高い妊娠率で、かつ、シカの1年1頭に対して1回に3～6頭を産み、妊娠に

失敗したり子供が死ぬともう一度妊娠することもある。放つておけば恐ろしい勢いで増加していく。

しかも日本には天敵もいない。さらに狂犬病などの人獣共通感染症も媒介する。(中略)

それにしてもなぜ、アライグマがこれほど逃亡することになったのだろうか。背景には、70年代後半に放映された人気アニメ「あらいぐまラスカル」によるブームがある。

独特の姿やしぐさの愛らしさが人気を呼び、一時はペットとして数万頭が輸入された。だがアライグマは幼獣のときは人間になつてかわいいものの、成獣になると気が荒く凶暴になる。野生動物として飼育することは出来ても、決して「ペット」向きの動物ではないのです。飼い主が持て余して放獣する結果を引き起こします。飼えなくなつたとき飼い主は「捨てる」ことになんとか生き延びてほしい「善意」で罪悪感を償う気になつている節があると考えられます。

しかし、舞台は北米では野生に返せても、日本ではない動物アライグマは「外来種問題」を引き起こしてしまうのです。



【アライグマの生息市町村数と捕獲数等の推移】



北海道において、アライグマの生息が確認された市町村数は、平成26年3月末現在、146市町村となっている。平成24年度は6,313頭の捕獲を行っているが、分布の拡大が続いており、生態系等への影響も懸念されている。

外来種問題は人災です。
 家庭から外来種を
 「入れない・捨てない・拡げない」を守りましょう。

私たちができること

自然観察や自然体験の機会を増やしましょう。自然とのふれあいは、身近な自然や生き物に対する興味や関心を深め、家庭や地域での対話や生物多様性に対する理解を広げます。

また、地域の魅力を再発見・創造するきっかけになります。私たちができることは、ペットを最後まで責任を持って飼う事です。家庭から外来種を「入れない捨てない拡げない」の外来種被害予防3原則を守りましょう。



第503回NACS-J自然観察指導員講習会 北海道開催のご案内

NACS-J自然観察指導員は、身近な自然を守る自然保護教育(環境教育)を行うボランティアリーダーです。講習会では、自然の見方、自然保護の考え方、自然観察の手法を学び、自然を見る目を養います。私たちは、“自然観察からはじまる自然保護”を合い言葉に、身近な自然をフィールドにして、自然の楽しさ・不思議さ・感動を伝え、自然とのつきあい方を考える自然観察会を広める活動を30年間続けています。日本の自然を守り、もっとよくするために、あなたも全国の仲間と一緒にはじめませんか。

- 開催日： 2015年6月13日(土)～14日(日)／1泊2日／雨天実施
- 会場： キトウシ高原ホテル(北海道上川郡東川町)／現地集合・解散／旭川駅から送迎バスの運行も予定
- 定員： 40名(申込者多数の場合は抽選)
- 費用： 32,000円(NACS-J会員は個人会費分5,000円減額／受講料、初年度登録料、NACS-J個人会費、テキスト代、保険料、宿泊食費(1泊3食)を含む)
- 共催： 公益財団法人日本自然保護協会(NACS-J)、北海道自然観察協議会(NOC)
- 後援： 北海道教育委員会(予定)、東川町教育委員会(予定)
- 申込期間： 2015年4月20日(月)～5月10日(日)
- お申し込み・詳細： http://www.nacsj.or.jp/katsudo/shidojin_schedule/
- 問い合わせ： 公益財団法人日本自然保護協会 教育普及部 講習会担当
TEL 03-3553-4105 E-mail Kansatsu1978@nacsj.or.jp



取材協力・資料提供ありがとうございます。

公益財団法人日本自然保護協会、北海道石狩振興局保健環境部生物多様保全課
 札幌市環境局環境都市推進部環境共生推進担当課、札幌市環境局みどりの推進部みどり推進課自然緑地係

地区PR委員 (3R)

たけばやし ひであき
札幌ライラックライオンズクラブ L 竹林 英彰



(株)リ・スタイル 代表取締役社長

〒060-0031 札幌市中央区北1条東13丁目2-2 イーストコート
 TEL.011-788-7628 FAX.011-788-7638

今期、第3R地区PR委員として大変お世話になっております。札幌ライラックライオンズクラブのL竹林です。
 L三澤地区ガバナー、L前山地区PR・ライオンズ情報委員長、キャビネット役員のもとご指導を受けながら、第3R・1Z・2Zの9クラブと連携し、ガバナースローガン「新たな未来への継続」をしっかりと理解し、PR活動を軸に今後、更なるライオンズクラブ発展の為、貢献出来るよう務めて参りたいと思っております。

ライオン歴

- 2008年10月 入会
- 2011年7月 ホームページ管理・編集委員長
青少年奉仕・YE委員長
- 2012年7月 テール・ツイスター

<http://www.isezushi.jp/>



伊勢鮓

isezushi

山と海、自然に恵まれた小樽の鮓を
 楽しい時間とともに
 お客様にご提供
 させて頂いております。
 どうぞ、ごゆっくりと
 小樽をお楽しみください。



◆ **伊勢鮓**
 小樽市稲穂3丁目15番3号
 営業時間/昼:11:30~15:00(14:30オーダーストップ)
 夜:17:00~22:00(21:30ラストオーダー)
 日・祝は21:00閉店
 定休日/毎週水曜日 電話(0134)23-1425 FAX(0134)23-1431
 駐車場/20台 30分無料 以降20分毎100円増

◆ **伊勢鮓 小樽中央店**(駅なかマートタルシェ)
 小樽市稲穂2丁目22番15号
 営業時間/寿司カウンター11:00~19:30
 定休日/毎週水曜日 電話080-2873-3391
 駐車場/30台 1時間240円 以降30分毎120円増





3R1Z

札幌ポプラライオンズクラブ

PR委員長 L八重樫 洋平

次なる100周年を目指す新たな1歩

我々、札幌ポプラライオンズクラブは二昨年CN50周年を迎えました。

CN50周年を記念して行われたACTの中で最も壮大なものの一つであったのが、当別「道民の森」での植樹ACTでした。カラマツ、シラカバ等2000本を植樹し、見事CN50周年の記念ACTのひとつを完遂したのです。

しかし、50周年はひとつの区切りであると同時に、新たな第一歩の始まりにすぎません。

昨年10月12日、植樹後のメンテナンスACTを行いました。植樹をして終わりではなく、木々の成長を見守っていき、しっかりと次世代へとつなぐ———それが次なる100周年を目指す我々ポプラライオンズクラブの思いであり、姿勢なのです。



実際、ACT当日は、米寿を迎えたベテランライオンから30代前半の新米ライオンや入会してから1年未満のライオンとそのお子さんまで、正に老いも若きもひとつとなつて、ACTをともしに行いました。



これから成長していく木々とともに、当クラブの伝統やメンバーの思いは脈々と受け継がれ、次なる100周年に向かって、ライオンズクラブの理念を胸に1歩1歩歩んで参ります。

また、昨年9月13日には、夕張市にて、「あだリンピック・障がい者スポーツ大会」のACTを行いました。

これは、障がいを持つお子様に「誰でもすぐに楽しく汗をかけるスポーツ」を体験してもらう目的で開かれた大会で、NPO法人さん主催のもと、法政大学の学生ボランティアの皆さんらとともに当クラブが大会パートナーとし



て参加したものです。お子様だけでなく、その親御様、大会スタッフの方々、そして当クラブのメンバー全員で汗を流し、フライングディスク・ポッチャなどのスポーツを楽しみました。昼食も全員でバーベキューを食べ、参加した全員にとって素晴らしい思い出となったことと思います。

3 R I Z

札幌リバティライオンズクラブ

PR・情報委員長 I 渡邊 忍

躍動と年輪のコラボで築くワイ・サーブ

私たち、札幌リバティライオンズクラブは結成34周年を迎えました。今期は、これまでに培ったメンバー同士楽しく交流する伝統を生かし「若い力と経験で充実したクラブ活動」「次代を見据えた委員会活動」を会長方針に掲げ、ベテランの知恵と経験に若手の新しい風を取り込みながら、クラブ



理念である「青少年の健全育成」のアクティビティを積極的に行いました。毎年開催している薬物乱用防止教室では、薬物の乱用を防止するため、薬物の恐ろしさを正しく理解し、薬物に関する正しい知識を身につける為に、札幌市内二校の小学校で実施しました。



児童からも、「恐ろしさがよくわかった」「絶対しません」など多数の声があり、校長をはじめ学校関係者からも高い評価を頂きました。

また、マーチングフェスタでは共催という形で、多くの幼稚園や小学校、高校、一般のバンドにマーチングの発表の場を提供し、運営をお手伝いさせて頂きました。



2月に開催する児童養護施設イルミネーション&ライトアップでは、札幌協青年部さんとタイアップして、昨年に引き続き、親元を離れている子供達の心に、少しでも温もりを伝えられるよう心を込めた活動を続けていきます。

毎回楽しい例会を計画して下さる計画委員長のおかげで、例会出席率はメイキャップを含めると90%以上を継続しています。

ベテランライオンのお孫さん、若手ライオンの子供達がたくさん参加する家族ぐるみの企画もあり、メンバー同士、家族の微笑ましい交流、年輪のコラボがあります。

これからも、会員一人一人が知性を高め協力しながら、社会奉仕に貢献したいと思います。

3 R I Z

札幌スノーピアライオンズクラブ

PR委員長 L 榊原 英俊

クラブアクティビティ報告

私達のクラブは2つのクラブが合併したため、数多くのアクティビティがございます。今年は諸事情があり開催されなかったものもございますが、私達の特徴あるアクティビティをご紹介します。

【スノーピアLC少年野球大会】

9月20日、21日毎年厚別区もみじ台にて開催しております。もみじ台地区は少子化が進む地域であることを踏まえ、青少年の健全育成を願い開催しているものです。今年度は厚別区、白石区、江別市より8チームが参加いたしま



した。又、開会式では来賓として三澤ガバナにもいらつしゃつていただきました。優勝は元江別アママルズでした。閉会式の後恒例のジンギスカン鍋を囲み、選手達やチーム指導者の方々と親睦を深めました。

【交通安全アクティビティ】

自転車事故防止のため厚別警察署の協力で自転車の安全走行の啓発活動を行っています。主に小学生を対象に自転車シミュレーターを使い安全走行、走行マナーなどを学んでいただいております。今年度は諸事情により開催は未定です。

【植樹・植林アクティビティ】

オイスカ北海道との共催で植林事業を行っております。今年度は10月に予定しておりましたが、9月の豪雨の影響により中止となりました。



【羊ヶ丘養護園の子供達とのクリスマス例会】

12月4日毎年12月の第1例会に羊ヶ丘養護園の子供達を招待して開催しております。子供達が大好きな料理や、ケーキ、ビンゴゲームなどをいつも用意しております。子供達は日頃練習している唄や踊りを披露してくれま

【沖縄の八重山LCとの交流】

当クラブは八重山LCと姉妹クラブとなっており、アクト等での交流を深めております。昨年6月には沖縄の障がい者の皆様で演奏活動等を行っているケントミバンドを例会にお迎えして演奏や演舞を披露していただきました。11月には石垣島を訪問し、献血パレードへの参加やマンダロープの植林等の協力を致しました。



3R1Z 札幌東ライオンズクラブ

子どもたちとペンキ塗りで汗をながす

札幌東ライオンズクラブは、薬物乱用防止教室の開催、春と秋の献血呼びかけ、茨戸川河川植樹、公園清掃の四つを継続アクトとして実施しておりますが、いざこまマンネリの感もあり、新しいアクトを模索してまいりました。かねて十五周年記念事業の一環として寄付をしたことのある社会福祉法人「麦の子会」(札幌市東区)が、施設の壁のペンキ塗り

で、職員父兄児童総出で苦勞していることを知り、助力を申し出たもの。麦の子会は、一九八三年にわずか大学生四人で創設し、一九九六年に社会福祉法人として認可を受けております。発達に心配のあるお子さん、知的障害のあるお子さんへの発達支援を中心に、放課後等デイサービス、生活介護事業、就労移行支援、ショートステイ等、父兄への精神的ケアを含めて、多岐にわたる事業を展開しております。施設数は小規模なものを含め二十、職員三百名、各施設の定員合計は四百五十名余ということです。

二〇一四年九月二〇日(土)、晴れ、十名のしが集合し、全員が白い「使い捨てつなぎ」を着用し、慣れない手つきで、高い所は若いしと職員、低い所は、ベテランしと子供達と手分けをしながら、約二時間、汗を流しました。綺麗に仕上げた壁をみて、まさにはれればとした気分になりました。

このアクトの成功の鍵となったのは、塗装会社を経営する中山正人しの存在でした。集合二時間以上前から、足場の設置、養生をさせていただいたうえ、塗



PR委員長 L辻岡 公夫

料の調査、ローラーネットや刷毛の使い方等の指導を受けました。終了後、清水会長から子どもたちへ、トランポリンとプレイトンネルを寄贈いたしました。

当会は幅広い福祉活動を行っておりますので、お手伝いできることは色々あります。ペンキ塗りアクトの継続を含めて今後の支援方法を検討しているところです。



ライオンズクラブ国際協会 331-A地区第3R第1Z **札幌東ライオンズクラブ**

会長スローガン 「思いを磨き、熱く行動 "We Serve"」

会長 L清水 克也 幹事 L小野内 雅子
 会計 L小野寺 剛 PR委員長 L辻岡 公夫

札幌市中央区南4条東4丁目2-1 さくら総合会計ビル内 TEL: 011-222-2209 FAX: 011-222-2219
 sapporohigashi@dao.or.jp URL: http://www.e-clubhouse.org/sites/sapporohigashi/



3 R I Z

札幌トラストライオンズクラブ

PR情報・IT委員長
L 桜井 貴史

キッズ空手道選手権大会開催

2014年10月26日、当クラブ主催の「第4回キッズ空手道選手権大会」が真駒内にある北海道青少年コンパスポ育館において、今年もまた極真会館の協力のもと開催されました。この大会には、三澤ガバナールはじめキャビネット二役も来賓として駆けつけてくださいました。



ところで、この企画ですが、小学生が対象で「礼に始まって礼に終わる」日本古来の武道精神を重視しつつ日ごろの練習の成果を存分に発揮していただくというもの。年々好評につき参加者も増え今年も全道大会として約1000名のチビッコがエントリーされました。

まずは、厳粛な開会式。そしてチビッコ代表の選手宣誓、ルール説明などが終

わるといよいよ試合がスタート。参加されたチビッコ選手は皆様に真剣そのもので応援する。両親も思わず力が入ります。例年と比べチビッコの技術的な成長振りを感じることができ、それだけ接戦・激戦が相次ぎました。



やがて予定のとおり全試合を終え表彰式と閉会式が執り行われましたが、戦い終わったチビッコ達はどの顔もすがすがしいものでした。閉会式の最後に、式次第にはなかったのですがチビッコ代表が出てきて当クラブ中村会長宛てにメッセージ。「このたびは有難う

ございました。来年もまたこの大会を続けてください。お願いします。」これを聞いた当クラブ会員の面々は、「これじゃあ、継続して取り組まなきゃならないなあ」と苦笑い。

当クラブ会員はチビッコの頑張る姿に感動し青少年の健全育成に少しでも役立てたことを安堵した一日となりました。



札幌トラストライオンズクラブ

会長スローガン 「輝けるライオン目指して We Serve」

会長 中村 登 幹事 京野 信博 会計 出羽 吉博

L堂畑 時雄	L出羽 吉博	L土橋 政信	L晴山 徳貴	L橋本 洋彰	L池田 謙一	L今村 尚司	L京野 信博
L宮崎 幸一	L能澤 正明	L中村 登	L野澤 強	L成田 靖大	L岡本 洋人	L杉澤 慎彦	L斎藤 達也
L菅原 洋	L桜井 貴史	L柴山ひろこ	L杉山 亮	L酒井 晋	L仙庭 真司	L竹内 武司	L高橋 綾子
L多田 輝	L浮田 俊也	L渡邊 寛	L米山 昭	L山田 裕之	L山内 睦夫		

事務局/札幌市中央区南3条西3丁目アルファ南3条ビル4階 TEL(011)211-6156 FAX(011)211-6157 事務局員 片桐 澄江
Eメール:s-trust@muse.ocn.ne.jp http://e-clubhouse.org/sites/sapporotrust/

(札幌トラストライオンズクラブ会員広告)

3R2Z

札幌ライラックライオンズクラブ

PR委員長 I 佐々木 豊

次代を見据えたクラブ作りとは何かを模索中

今期I遊佐高兌会長スローガン「RESTART 未来(あした)へ」の下、クラブは二月にクラブ創立半世紀であるCN五十周年式典を迎える事が出来ました。その節には多くのご来賓の方々にご臨席賜りました事忠心より厚くお礼申し上げます。



当クラブは二年前から、国際協会が進めている「会員満足度アンケート」をクラブ独自のものに手直しをし、「理想のクラブの在るべき姿とは何か」のコンセプトの下、現在優先順位をつけて改革を推し進めている処であり、アクティビティも従来の有形から無形の



アクティビティに姿を変え、次代に向けたクラブとは何か、また時代に即したアクティビティとは何かを模索している処です。

特に青少年育成事業に重点をおいたアクティビティを事業の柱とし、十月には四つの児童養護施設の入園児を対象としたミニ運動会の「青空フェスティバル」を、十二月には札幌母子寡婦支援施設の入所母子と職員をお招きしての「クリスマス家族会」、二月には全道少年柔道優勝大会への支援、そして同じ二月には感性豊かな少年少女に更なる夢と希望をとのコンセプトの下、結成四十五周年からの継続事業として公益財団法人札幌市芸術文化財団の札幌ジュニア・ジャズスクール事業の支援で共催チャリティコンサートMUSIC LAMPがあります。

今年も二月二十八日に幌市教育文化会館大ホールに、ジャズシンガー山中千尋もお招きしての合同開催を予定しております。

このチャリティで集められた基金は毎年、私どものクラブを通して公益財団法人北海道盲導犬協会や、視覚障害のお持ちの方並びに東日本大震災で被害に遭われた岩手県の被災地支援等に使用させて頂いております。

この様に当クラブは、市民を巻き込んだ活動こそが、世間に認知されたライオンズクラブになる条件と思ひ社会奉仕に精進している次第です。



3R2Z

札幌はまなすライオンズクラブ

PR委員長 L水野 眞佐夫

チャリティボウリング大会

わがクラブでは、毎年3月の小・中学校の春休みに、児童養護施設 札幌南藻園の児童及び同園職員を招待して、チャリティボウリング大会を開催しております。

7月の「札幌はまなすライオンズクラブ杯全国少年ジャンプ大会」と併せて、2大連続アクティビティとなっております。

エコー誌のメ切的関係上、今回は昨年の第5回チャリティボウリング大会についてリポートします。

昨年3月8日(土)同園の児童33名、同園職員7名、ボウリング愛好者で、この趣旨に賛同してくれた人達や、ライオンズのメンバー15名、合計48名で第5回目の大会が、サンコーボウル(琴似)で開催されました。

例年のことですが、大塚製薬(株)様から4名の社員が参加さ



れ、子供達へのお土産としてポカリスエットをはじめ沢山のプレゼントがあり、又、小西酒造(株)様から大人へのお土産として、清酒を提供して頂き、更にサンコーボウル所属のプロ並みに上手なボウラー2名からも、子供達にお菓子を多数プレゼントされ、大会を

盛りあげていただきました。

ボウリング終了後、ジンギスカン料理店「宮之森」で大会参加者、お手伝いの人達も含めて50名、ジンギスカン食べ放題、ソフトドリンク飲み放題で、1時間半楽しく過ごしました。子供達の嬉しそうな顔、食欲旺盛な姿を見ると、今年も、この大会を継続して良かったなあと思いつつながら、子供達を見送った次第です。

後日、子供達からクラブ宛に寄せ書きが送られて来ました。「大



変楽しかった」「ボウリングが去年より上手になった」「ジンギスカン美味しかった」「来年も是非やってください」等々、お礼を込めて、沢山書いてあり、こちらの胸も熱くなりました。

この大会費用はすべてライオンズ、ボウリング愛好者からの寄附で賄っております。

今年は3月28日(土)に実施すること、現在、準備を進めているところです。





3R2Z

札幌新星ライオンズクラブ

PR委員長 I 阿部 富志幸

青少年育成活動・継続ACT報告く柔道大会く



皆、頑張れっ！



第10回少年少女柔道大会 平成27年2月22日
北海道立総合体育センター(きたえーる)
通常1団体1チームのところ、2チームまで参加でき、ふだん大会に出られなかった子供からも喜ばれて、今年は4チーム増えて29チーム、182名の選手が参加し、白熱した試合に成りました。



白熱した試合！





第20回少年少女軟式野球大会平成26年7月19日白石区新球場 この大会は、勝ちに恵まれない下位8チームで行い、日頃の成果を再度発揮するチャンスのお手伝いが出てきていると思います。

また、大会前に選手全員と二緒に交通安全の呼びかけを行い、ボランティア活動の経験を通して、礼儀や社会のルール等を学び、成長してもらえと思っています。



少年少女軟式野球大会

両大会とも、準備から後片付けまで大変ですが、子供達のはつらつとした笑顔を見ると我々も元気をもらい、次回もぜひ頑張ろうとパワーをもらっています。

331-A地区 第3R第2Z

札幌新星ライオンズクラブ



会長スローガン

「絆と和をもって、奉仕の心」

クラブ会長 L 関 義孝 幹事 L 小笠原 恵津子 会計 L 原 孝男 PR 委員長 L 阿部 富志幸

L 阿部 吉雅 L 飯田 英人 L 石垣 一之 L 石黒 諒 L 岩木 雅嗣 L 上本 兼史

L 大石 紘靖 L 尾崎 敏文 L 大滝 康一 L 金子 均 L 上諏訪 充史 L 岸本文彦 L 小松 耕治

L 今野 博 L 斉藤 昭晋 L 斉藤 寿美子 L 斎藤 孝志 L 佐々木 英年 L 佐藤 博道 L 白戸 辰男

L 清野 康生 L 相馬 諭志 L 高橋 智春 L 坪川 林勇介 L 寺尾 正人 L 戸井 正人

L 中鉢 義登 L 南野 幸雄 L 平井 詳人 L 藤井 国生 L 保坂 ヤス子 L 前山 忠 L 松本 義樹

L 三澤 聖一 L 宮西 豊 L 宮野 裕史 L 元村 秀雄 L 矢野 雅侍 L 山口 勉 L 吉田 忠彦 L 吉田 正雄

(五十音順)

〈札幌新星ライオンズクラブ会員広告〉



松尾ジンギスカン本店) 北海道
滝川市明神町3丁目5番12号

ご予約の受付・お問い合わせは

TEL 0125-22-2989

株式会社マツオ

本社) 〒073-0025 北海道滝川市流通団地1丁目6番12号
TEL.0125-23-1919 FAX.0125-23-7380



滝川市明神町3丁目7-34
TEL 0125-24-7555 FAX 0125-74-6011
E-mail:buzz_sinse214@yahoo.co.jp

これまでにない現場を、これからも現場とともに。
コマツの建設現場ICTソリューション。
新時代「スマートコンストラクション」はじまる。



現場に、未来がやってくる。SMALT CONSTRUCTION

コマツ製品の新车/中古/修理/部品のご用命は
コマツ建機販売株式会社 砂川支店
TEL 050-3486-7017 / FAX 0125-53-3176
〒073-0101 砂川空知太東1条6丁目1-19

秋田屋

秋田屋旅館
滝川市明神町1丁目2-20
滝川駅より徒歩8分
(0125) 23-2560
《秋田屋分店》
お昼時のお食事、ゴルフ帰りにでもどうぞ
滝川市江部乙町西12-3-46
(0125) 75-5247

居酒屋

竹ちゃん

季節に合った お料理を堪能してください
小宴会など お気軽にお立ち寄りください

滝川市本町4丁目1-15
TEL 0125-24-1777

サンク
るーと39

今宵の貴方々をお待ちしております。

滝川市本町3丁目1-5エイトビル2F
TEL 0125-22-7170

エム エヌ
M&N

今宵の貴方々をお待ちしております。

滝川市本町3丁目1-5エイトビル1F
TEL 0125-74-4882

地区PR委員 (5R)

そらちライオンズクラブ

(有花の総合)

〒073-0023 滝川市緑町3丁目1番8号
TEL.0125-23-5757 FAX.0125-23-5796

たまむら きよし
L玉村 潔



5Rの皆様には、色々とお世話になっております。また、三澤ガバナー「新たな未来への継続」について、L前山PR委員長始め、各々ZCP L干場、L木村、L中島の皆様には2016年7月山田實紘国際会長誕生の準備の中、今期のPR活動に深いご理解をいただき大変感謝を致しております。
残り少ない任期を最善を尽くす所存です。
宜しくお願い申し上げます。

ライオン歴

2005年1月	入会
2006年7月	PR委員長
2008年7月	クラブ会計
2010年7月	クラブ会長
2013年7月	会員理事

THE 98TH LIONS CLUB INTERNATIONAL MEETING IN STATE OF HAWAII HONOLULU

第98回 ライオンズクラブ国際大会



ホノルル国際大会

[開催地] 米国ハワイ州ホノルル

[開催式・閉会式会場] ハワイコンベンションセンター (HCC)

[大会サービスセンター・投票会場] ハワイ・コンベンション・センター (HCC)

開催期間

2015. 6.26(金)~6.30(火)



毎年、2万人以上のライオンズ会員が世界中から集まり、国際大会を祝っています大会は、知人と再会したり新しい友達と出会うのに理想的な場です。他のクラブや地区の事業について知ることもできます。また、国際的なリーダーや本部の代表者たちと個人的に知り合うこともできます。

[大会のハイライト]

国際大会では、異なる言語とバックグラウンドを持つ120を超える国や地域からやってきたライオンズ会員と交流し、国際パレードで肩を並べて一緒にホスト・シティの通りを行進するチャンスもあります。セミナーに出席し、協会の将来について投票しましょう。そして、3日間にわたるアクション満載の総会、エキサイティングな展示ホールなど、ハイライト行事を楽しんでください。



5 R I Z

滝川ライオンズクラブ

PR委員長 L小野 淳子

我がクラブのアクティビティ

滝川ライオンズクラブでは、今年度の新事業として滝川幼稚園において紙芝居の読み聞かせと図鑑の贈呈を行いました。これは今年2回目の開催となった「ふれあいチャリティビールパーティー」の益金をもとにして、新たに市内の幼稚園や保育所における情操教育の一助となるような継続的の事業の構築を図る目的で開催しました。

初めての試みのため、会場設営など多少時間はかかりましたが、練習のいかにもあり登場人物の多い紙芝居もスムーズに行え、演出で行ったハンドベル演奏では園児たちも一緒に歌ってくれました。最後に図鑑の贈呈を行い、園児達の笑顔とふれあう事が出来ました。本事業は来年度も継続事業としたいと思っております。



その他のアクティビティ活動としては、今年で37回目の滝川ライオンズクラブ旗争奪中学校野球大会を8月に開催、9月には第6回滝川ライオンズクラブ杯柔道大会を開催、10・11月の二ヶ月にわたり市内の全小学校6校において薬物乱用防止教室を実施しました。

今後は2月に第17回滝川ライオンズクラブ杯ミニバスケットボール大会と中学校1校で薬物乱用

防止教室を開催、除雪ボランティア、6月にはたきかわこどもミュージックフェスタを行う予定になっています。

これらのアクティビティを通じて、地域社会への奉仕の精神を忘れずに、子供たちが少しでも将来の夢や、優しい心を育むことのお手伝いを続けて生きたいと思



5 R I Z

芦別ライオンズクラブ

PR委員長 L 藤岡 慎吾

青少年健全育成事業報告

二月一日(日)芦別市なまこ山総合体育館サブアリーナにて、今回で二回目となる芦別ライオンズクラブの青少年健全育成事業「芦別ライオンズ杯 青少年剣道大会」を開催いたしました。昨年まで青少年健全育成事業として二六回を数えましたバスケットボール大会から場を移しまして、ご依頼を頂いた剣道連盟様の大会を御支援させていただくことになりました。当日は午前十時の開会式から始まり、午後三時の閉会式まで大変長い時間でしたが、深川市、滝川市、芦別市より参加頂いた剣士たちは元気に、そして紳士に一戦一戦を戦い抜いてくれました。



シツカリとした戦いだった事です。このような人間形成に深く関わる剣道の大会に芦別ライオンズクラブの一員としてお手伝い出来た事を大変うれしく思います。二月の二十二日には芦別国設スキー場にて芦別市とその近隣の小学生を対象とした「ジュニアスラローム大会」を開催致します。

毎年大勢の小学生と、その応援で来場される御家族で大変盛り上がるアクティビティですので、前日の開場設営から当日の運営までメンバーで協力し大成功に終わらせたいと思います。

芦別ライオンズクラブの青少年健全育成事業として、昨年十一月には「ダメ・ゼッタイ薬物乱用防止教室」を芦別小学校の六年生を対象に行いました。私達が小学生の頃と違い、誰もが簡単に禁止薬物と出会う可能性がある時代ですので、薬物の使用がどのような結末をもたらすのかを理解してもらい、疑わしい人、モノには近づかない判断が出来るようになって欲しいと思います。

昨年を最後に、長きに渡って青少年健全育成事業の一つであった「ライオンズの森自然観察会」は西芦別小学校の閉校にともない終了いたしました。空知地区の少子高齢化、人口の減少によって



我々が奉仕できる事業も縮小していつはおりますが、今後も、子供たちに夢と活躍の場を与えられるアクティビティを続けていきたいと思っております。

5 R I Z

赤平ライオンズクラブ

PR委員長 L獅畑 輝明

地域に根付いた奉仕活動

2014年10月28日北海道線用水路(北海道遺産)沿いのアジサイロードに環境保全事業の一環として桜苗木の植樹を行いました。

この桜植樹事業は、百戸翠光苑・エルム高原施設などの各公共施設周辺において、約35年前から継続して実施されてきました。現地では8年目となります。

「桜植樹・障がい者福祉基金造成ピアティー」の益金を活用した事業でありメンバーのほか「アジサイロードの会」北海道土地改良区



イオン・赤平市の職員の方々など、多くの方々のご協力を得ながら実施いたしました。

特に今年は「イオン」のほっかいどう遺産「W.A.O.N(ワオン)助成金」を活用させていただき、数多くの桜を植えることができました。

春には桜の花が、夏にはアジサイの花が咲き乱れる用水路沿線。一度、家族連れで訪れてほしいものです。



当日は、初雪の降る生憎の天候でしたが、作業後、赤平名物の「がんがん鍋」で冷えた体を温め、無事終了いたしました。

年末恒例の「餅つき」は知的障がい者更正施設「フーレビラ」において、入所者の皆さんと、地元百戸町町内会・老人クラブの皆さんにも応援に駆けつけていただき開催されました。

毎年心待ちにしている入所者も多く、対面式では、参加者ひとり一人に感謝のメッセージが手渡されました。

それぞれ交代をしながら、2台の臼で餅米をつきあげ、大きさを揃いながらも、心のこもった手作りあん餅が流れ作業で次々と出来上がり、和やかな雰囲気のもと、盛会のうちに終わりました。

42回を数えるこのアクティビティは入所者・地域住民の皆さんとの交流を深めながら地域社会に根付いたメイン事業として継続さ

れていくものと思えます。

薬物乱用防止の啓発については「あかびら火まつり」会場において、パンフレット・ティッシュペーパー等の配布を行い、「ダメ。ゼッタイ。」を来場者に呼びかけ、PR活動を行いました。

これからも、積極的に地域へ出向き、各事業を通じて社会奉仕に努めていくところでありま



※赤平名物「がんがん鍋」が食べれるLメンバーのお店
L松川博幸「寿しの松川」 ☎0125-32-3065
L岡田 剛 海鮮居食屋「暖らん」 ☎0125-32-5217

5 R I Z

新十津川ライオンズクラブ

PR委員長 L 笹木 正文

『児童と共に『田んぼ体験ファーム』事業』

当町では今年、町内観光振興事業の発信と町のイメージアップを図るため、新たに新十津川町観光PRキャラクターとして『とつかわこめぞう』を誕生させました。このキャラクターは町の基幹産業である水稲をイメージして作られ、顔はお米の形をし、肩からはお酒の瓶をぶら下げ、米の妖精と云った位置づけになっています。

このように町の産業の中心であり、歴史ある特産品清酒の原料でもある米作りを子供たちに伝えるため、当クラブでは『田んぼ体験ファーム』と称して、小学生を対象に、春に苗を一本一本手で植える田植えから、秋は鎌で稲束を束ね、東づつ収穫する稲刈りまで、機械に頼らない昔ながらの手法で田んぼ体験事業を毎年継続して行っています。



この事業は、当クラブのほか新十津川小学校・土地改良区等の各団体、そして地元の新十津川農業高校の生徒や農業指導の先生にも協力を頂いています。特に農業高校の生徒は、子供達と一緒に田んぼに入り農作業の手ほどきを一つ一つ丁寧に指導してくれます。

収穫が終わると、自分達で刈り取ったお米を『新米おにぎり』として、小学生の子供達と関係した各団体等の人達と一緒に食べる楽しい収穫祭を開きます。

いつも当たり前前に食卓に出される御飯の一粒一粒は、多くの手を掛けないと収穫出来ないことを、身体を使った作業体験を通して感じ、食することのありがたさと、生産者に対する感謝の気持ちを子供達の心に養うことを目的として実施しており、この事業によって新十津川町の子供達が水稲の実体験に伴う知識を習得し、加えて日々食することに對し感謝の心を持つことを願って、当クラブの事業報告とします。



5 R I Z
 滝川中央ライオンズクラブ

PR委員長 I坂井 英明

「アクティビティへの思い入れ」奉仕のマッチング

滝川中央ライオンズクラブは、今年度会長テーマでもある「一人一人の元気で笑顔になる愛の奉仕」を念頭に障がい者の方や助けを必要とする方へ、奉仕の二方通行にならないよう日頃ニーズをリサーチしながら、私たちが出来ることと求められるマッチングを考え、自分たちに何が出来るか、何を求められているかを常に意識してタイムリーに奉仕を続けていきます。

今年度は、奉仕のマッチングを探る中、滝川B&G海洋センターへカーン贈呈式と水上スポーツ体験学習の同時開催や空知管内の中学校11校に参加いただいた第15回滝川中央ライオンズカップ中学生8人制サッカー大会開催など、さまざまなアクティビティを行ってきました。中でも、滝川ソラ

プチキッズキャンプへレスキュー用ストレッチャー付きそりを贈呈出来たことが奉仕のマッチングそのものであったと思います。当初キッズキャンプ側からオフロード用車椅子5台程度の要望を頂き、



当クラブはそれに賛同し複数年で寄贈していこうと計画し、前年度まで2台を寄贈していましたが、キッズキャンプ側から不測の事態があつた際、患者さんをスムーズに運べるそりを要望していることから車椅子の寄贈を変更することとなりました。要望のそりは、日本国内に販売しているところは無く、世界中から探し出したカナダの販売店から直接船で輸入することになった思い入れの深いものになったひとつです。残念ながら、この原稿の締切りにはレスキュー用ストレッチャー付きそりの写真は間に合いませんでしたが、今後においても私たちの出来ることを考え、求められる奉仕のマッチングを探りながら活動し続けます。





5 R 2 Z

砂川ライオンズクラブ

PR情報
委員長

L奥山 晃市

砂川ライオンズクラブ杯第9回交流パークゴルフ大会

当クラブの継続事業である砂川LC杯第9回交流パークゴルフ大会を石狩川河川敷パークゴルフ場で平成26年7月19日(土)に開催しました。

この大会は、親睦交流事業の一環として、パークゴルフを通じ、地域内の高齢者の生活習慣病、成人病の予防対策として、健全な運動や生きがいスポーツを持つことが予防になると考えられています。地域内の市民の方々、高齢者の交流と健康増進を目的として大会を行っています。



当日は、参加者92名の選手の皆様が集まりました。PG愛好者、同好会、町内会の皆さんにとっても楽しい大会であるといえました。

砂川LC第1副会長L中谷数正の激励の挨拶、砂川PG協会長から「パークゴルフは、誰もが出来る生涯スポーツです。これからも、



お付き合いをお願いします。熱中症に気を付けて下さい。」と述べられ、全員でラジオ体操を行ってから競技が始まりました。選手の皆さんは36ホールをそれぞれ真剣にプレーを楽しみました。

優勝者男子横山健一選手は91「ベストスコアが出たア」と大喜び、女子原田光江選手98、LC関係者ではL岡本昌昭111でした。

賞品は、参加者全員と入賞者に賞品が手に出来るように工夫しました。来年は今年よりも、より一層充実した大会になることを願っています。



アメニティータウン砂川、市民一人当りの公園面積日本一の街

砂川ライオンズクラブ

会長スローガン

みんなで楽しく、奉仕活動

会長 L浅野 博

幹事 L増井 浩一 会計 L那須 淳市

PR情報委員長 L奥山 晃市

砂川市西4条北4丁目1-2 砂川商工会議所 sunacci@ninus.ocn.ne.jp
TEL 0125-52-4294 FAX 0125-52-4296

〈砂川ライオンズクラブ会員広告〉

5R2Z

奈井江ライオンズクラブ

PR委員長 山村 祐一

「アクティビティ報告」

奈井江ライオンズクラブは、1961年6月砂川ライオンズクラブのスポンサーにより、僅か19名で結成されたクラブです。先輩達から培ってきたライオンズ精神を承継し、今年度会長し大澤村雄のもと「未来に向かって夢ある奉仕」をスローガンとし、活動を展開しています。当クラブのアクティビティですが、新入生交通安全帽子贈呈、交通安全街頭啓発、絵本贈呈、福祉施設慰問事業等、先輩達が築き上げた奉仕活動を継承し実行して参りましたが、その中の一部を紹介させていただきます。



■協働の森づくり

奈井江町は、町有林を2,478ヘクタール所有し、その内伐採跡地250ヘクタールが植林されない状況で、計画的な造林と町民との協働で緑を蘇らせることを目的に10年前から「協働の森づくり事業」が始まり、当クラブも発足した事業開始当時から植樹アクティビティとして、



春秋年2回参加しております。10月18日ライオン6名が、当クラブが活動支援しているグリーン少年団、町議会議員、町職員、町民有志の方々と総勢60名が一緒になつて300本を1時間足らずで植栽しさわやかな汗を流し、地球温暖化防止の願いもこめて参加させて頂きました。

■青少年育成事業（活動資金助成）

7月15日例会において、スポーツ少年団（サッカー：空手）、緑の少年団と3団体に、会長し大澤村雄から育成資金贈呈を行いました。その後各団体の代表の子供たちから元気いっぱいのお礼のあいさつがあり少し緊張していた子供もいましたが、子供たちの笑顔をみているとこれからも継続して活動していく決意をライオン一同新たにしました。

■薬物乱用防止キャンペーン

小・中・高校の児童生徒に対し

て薬物を使用しないよう、薬物の恐ろしさを啓発する活動を実施しました。10月16日早朝ライオン14名は、各学校の校門で、啓発用のパンフレットとポケットティッシュを「おはよう」の言葉を添えながら配布しました。奈井江商業高校では、学校長とともに啓発活動を実施し、その際どの生徒からも礼儀正しい「あいさつ」が交わされさわやかな気持ちになりました。また、小・中校でも朝から子供たちの元気な「あいさつ」が交わされ、この町から薬物を使用する人が出ないのではなにかと、確信した日となりました。



5 R 2 Z

そらちライオンズクラブ

PR委員長 L佐藤 輝己

そらちライオンズクラブアクティビティ紹介

この半期、当クラブの二つの継続事業と新たな事業を開催。

最初の事業は青少年健全育成事業の「夏休みクルージング体験」、今期9回目となるクルージング体験は、8月2日(土)近隣市町の小学4年生、中学3年生までの生徒と、友好を結んでいる増毛ライオンズクラブからも地元生徒

と総勢30名が参加、乗船前の注意事項を徹底し各人がライフジャケットを装着して、好天候のなか雄冬沖まで楽しくクルージング、下船後はマリーナ周辺のゴミ拾いとさくらんぼ狩りを行い、汗を流した



夏休みクルージング体験



「24時間テレビ・愛は地球を救う」募金応援隊



バレーボール教室

後には昼食のバーベキュー、地元増毛の子との楽しい交流の場となり、来年また参加したいと喜んでいただく事が出来ました。次の事業は、7回目となる社会奉仕事業の「24時間テレビ・愛は地球を救う」募金応援隊としてのアクティビティを8月30日(土)滝川市の弁財天広場にて開催、当日は美唄焼き鳥・おでん・フランクフルト等飲み物も販売し、地元カラオケ同好会も飛び入り参加、1曲歌うごとに100円の募金があり、地元ラジオ局「FMGスカイ」も取材に訪れ、多くの市民の方に足を運んで頂きました。募金額79,422円と販売の益金をたしてSTVに募金

いたしました。最後の事業は、矢野会長の提案で「もう一つの事業を行いたい」との事から実現した「バレーボール教室」この事業は女子中学生を対象にした事業で、講師に元日本女子バレーボール代表田中姿子選手(現プロビーチバレー選手)を招き開催いたしました。

近隣市町6校から是非プロの指導をうけたいと70名の生徒が参加、昼食をはさんで午前の部、午後の部に分けて練習指導、始めの開会式から生徒は姿勢正しく臨み、田中選手の指導を真剣に聞き、実践に活かそうと汗を流しながら練習に取り組み、お母さん達も声をかけながら応援していました。最後にはサプライズとして田中選手からバッグ等のプレゼントが代表の生徒に手渡されました。終了後、6校にバレーボールを届け、各学校の先生からは「生徒が大変に喜んでおり来年もぜひ開催して欲しい」と言っていた事が出来ました。

当クラブはメンバーもそんなに多くはありませんが、今後も色々な事業に取り組んでまいりたいと思っております。

そらちライオンズクラブ

会長スローガン ライオンズスピリッツ!仲間と笑顔でWe Serve!!

会長 L矢野 克之

顧問 L村田 収 幹事 L佐藤 勝也
 会計 L山崎 直樹 PR委員長 L佐藤 輝己

事務局 砂川市東1条南17丁目1番31号 キムラエンジニアリング株式会社内
 TEL 0125-55-2920 FAX 0125-55-2921 E-mail 331-a.sorachi-lc@kimuraeng.com

5R2Z

滝川グリーンライオンズクラブ

PR委員長 L山本 良明

ライオンズ世界奉仕ウィークにチャレンジ

結成7年目で会員数が少なく、第一線で働く若い会員が多いクラブです。

世界中のライオンズが百周年を記念しての奉仕を行うのであれば「ぜひ参加しよう！」と意見が一致し何を行うか、様々な意見が出ましたが、我がクラブはこれまで青少年育成に力を注いできたこと云うことで目標を定める。

そこで、近年「日本食」がユネスコ無形文化遺産に登録され関心が高まりつつあり、そんな中、日本食には「そば」も含まれていることから、子供達にそば打ち体験をしてみよう事に決定。

日時を1月15日10時からとして早速市内の児童館に行き内容を説明、20名程の児童を募集したい旨を伝え、申込用紙等作成して児童館に置いたところ、倍以



上の48名の応募にビックリ。児童館から会場となる「ふれ愛の里」体験教室までジャンボタクシーでの送迎付で、子供達は遠足気分でルンルの様子です。体験場到着後、1年生から6年生まで5〜6名の混成チーム9組に分かれて整列し、L中西会長の挨拶の後、そば打ち同好会の代表より簡単な説明の後、いよいよ開始。ほとんどの子供達は初めての体験で、鉢の中のそば粉

に手を入れて「ワー気持ちいい！」と大はしゃぎ。粉に水を入れこね回し（本当は水回しと云う）、だんだん団子状になってくると興味津々、今度は粘土いじりよろしく、元気に練りの作業でひとつの固まりになりました。

同好会のメンバーに手伝って貰いながら、薄く大きく伸ばしていき、切りやすくだたんで、包丁（切り）作業です。切りの作業は危険が伴う為、事前に子供達に十分説明し、作業をしているお友達に近づかないことを約束した為、全員真剣な面持ちで見つめていました。

いざ自分の番になると大きな包丁を思うように扱えず、悪戦苦闘するのですが、仲間から褒められたり、励まされたりしている様子を見ますと、今回のACT



がとても有意義に感じるところでした。さて、全員が切り終わりのよい待ちに待った試食の時間となり、それぞれの班ごとに茹でて、温かいかけそばで「イッタダキます」とやはり元気がいい。太いそば、細いそば、短いそば、色々あるけど全員やっぱり「おいしー！」でした。

昼近くなり最初はそう多くなかったメンバーが気がつくとなんが参加の状況。やはり食べ物で釣るしか無いかな？

今回の様なACTが、若いメンバーに引き継いでもらえるよう、古参会員の努めと改めて認識したところです。

5 R 3 Z

深川ライオンズクラブ

PR情報
委員長

L 永倉 隆太郎

『SMILE FOR YOU』笑顔をあなたに』

各クラブ会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。北海道の春はまだ遠いですが、何かとご多用のこの時期、季節の変わり目ということもあり、体調を崩すことのないようご自愛くださいます様、まずはお願いを申し上げます。

さて、深川ライオンズクラブでは今年度、二宮克彦会長は「SMILE FOR YOU」笑顔をあなたに」というスローガンを掲げています。「We serve」の精神のもと、助けを必要とする誰かのために単に労働奉仕や金銭奉仕を行うのではなく、「奉仕を受ける方々がうれしくて笑顔になる。」そんな活動を目指しています。We serve your smile for you.と云ったところでしょうか。笑顔で楽しく、元気になって、勇気がわく、笑顔に触れるとその周囲も和みます。そんな光景を目の当たりにすると我々も笑顔になり癒され、次の奉仕へとつながっていきます。だから、「トあたたかい笑顔」をあなたにあげる。あたたかいんだから〜ト」ということです。



までのアクティビティを、ご紹介いたします。

2014年9月4日深川市役所前での献血推進事業を行いました。あいにくの雨模様ですが、ご協力いただきました。また、毎年行っている事業として、知的障害者支援施設を利用している皆さんとボウリングをメンバーがいつものようにゲームを楽しみ、その後は焼肉を食べてもらい、楽しい一日を提供するアクティビティです。参加される皆さんには、毎年喜ばれており、その日の最後には「来年もやってね」と参加者

から声がかかる事業となっています。そして、その障がい者支援施設が主催する地域との交流事業にも協力しラーメン店を出店。売り上げをすべて施設に寄付をするアクティビティも開催しました。

そのステージイベントでは、当クラブ会長もバンド出演し、その美声(?)を披露しました。(写真・現会長次期会長・前会長です)

結びになりましたが、昨年度はホームページ更新が滞っており情報配信があまりできなかったことに、昨年度の会長としてこの場をお借りして深謝いたします。今年度はそのリベンジの意を込めてPR情報委員長として、活動紹介を内外に活動を幅広く配信するよう心掛けていこうと考えています。

会報やホームページは一般の方々にもわかりやすく楽しい記事を作成し、加えて新たにホームページとリンクさせてFACEBOOKサイトも立ち上げ、タイムリーな情報配信を目指しております。あと数ヶ月で次年度という時期で少ない期間ではございますが、できるだけ様々なアイテムを利用してPR情報委員会として次年度に向けての会員維持・会員増強にも力を入れていきたいと考えています。深川ライオンズクラブを今後ともよろしく願っています。



深川ライオンズクラブ

2014-2015年度 深川ライオンズクラブスローガン

smile for you

～笑顔をあなたに～

- ・会長 L一宮 克彦
- ・幹事 L桑原 青史
- ・会計 L西口 健一
- ・PR委員長 L永倉 隆太郎

〒074-0022 深川市北光町2丁目14-4
電話:0164-22-2220 FAX:0164-22-5330

〈深川ライオンズクラブ会員広告〉

5R3Z

沼田ライオンズクラブ

会長 白井 有一

沼田町明日萌・ほたるの里ウォークキング2014アクティビティ



平成25年10月6日(日)一
沼田町明日萌・ほたるの里
ウォークキング2014」が
開催されました。

沼田町中心部から北空知
の奥座敷、沼田町ほろしん温
泉へ向かう5kmから最長18
kmの明日萌ウォークキングのア
クティビティを実施しました。
(沼田町教育委員会主催沼
田ライオンズクラブ協賛)この
ウォークキングの趣旨は自然と
親しみながら、子供から大人
までそれぞれ体力にあった
コースを歩き、健康づくりと
交通安全、沼田町の魅力を
再発見をすることです。
当日はすばらしい秋晴れの
下、コース全体が紅葉彩られ
た中、総勢200人近くの参
加がありました。



わがクラブも毎年、ゴール
約3km手前の地点で恒例と
なったドリンク、お菓子、飴、
などを参加者へ手渡し、毎年
参加者に大変ご好評をいた
だいております。

またゴール地点のほろしん
温泉では「ほろしん温泉 第
19回紅葉まつり」が開催さ
れ、大勢の町民らがジギス



キャンや屋台に舌鼓を打ち、の
んびりと秋の休日を過ごし
ておりました。

わがクラブは、今後とも地
域にとつてなくてはならない
存在として会員が一致団結
し、さらなる歴史を積み重ね
ていくよう奉仕活動に邁進
していきます。

5R3Z

秩父別ライオンズクラブ

PR委員長 東 雅巳

絆を大切に 愛のある社会に

今期 第47代会長 大野 敬のもと、会長スローガン「郷土を愛するライオンの絆」を掲げ、地域に根ざした愛と夢あふれる奉仕活動をとアクティビティに取り組んでおります。

今期も、例年実施してまいります秋の交通安全運動を商工会女性部・青年部と協賛し、悲惨な交通事故が起きないように、国道233号線を往來するドライバーに安全運転を呼び掛け、お菓子（からんころん）・缶コーヒー・交通安全パンフレットを配付し、交通安全啓蒙活動を行い、春には「春の交通安全キャンペーン」で新入学児童に通学用ヘルメットを贈り、交通安全指導を行っております。

今年度は青少年育成の一環として、地元少年野球チームへベンチ（4脚）を寄贈し少年野球部員に

大変喜ばれました。

また、今年度もライオンズクラブをPRしようと、ピンクのハッピを着用し地域の各種イベントに3回出店し海鮮焼物を販売、地域住民との触れ合いを深めております。

このイベントも夏場に集中する



ことから、クラブ員も真夏の炎天下の中、太陽と炭火の厚さと闘いながら、汗が先かビールが先か分からない程、飲んでも飲んでも水分補給がおぼつかない状況でした。

老人施設への奉仕作業では、引継例会時にグループハウス「ライフ」の窓拭き清掃作業を行っております。

また、クリスマス慰問ではグループホーム「べにばら」へクラブ員がサンタクロースの衣装を纏いクリスマスプレゼント渡し入所者に大変喜ばれております。

これからも、地域に必要とされるライオンズクラブであるよう、仲間と地域の絆を深め、人の心を大切に、愛と夢あふれる町づくりに奉仕活動が続けてまいります。



5R3Z

雨竜ライオンズクラブ

PR委員長 L平松 恭宏

雨竜ライオンズクラブ年間活動内容の紹介

2014年7月から2015年6月までの雨竜ライオンズクラブは、竹ヶ原利明会長のスローガン「奉仕の精神で雨竜の未来を創造」の下、一年間様々な奉仕活動等を計画しております。

7月には町こども育成連主催の「うりゆうこども祭り」、8月にはみどり少年団夏季キャンプに金銭アクティビティを実施致しました。

9月にはいきいき元気村雨竜ライオンズクラブ会長杯パークゴルフ大会を開催しました。この大会は町内外から多数の参加者が集まり、熱い戦いが繰り広げられました。

10月上旬には雨竜高等養護学校の2年生を雨竜町パークゴルフ場に招待致しました。2つのコースに分かれ、町内パークゴルフ愛好

者の指導の下でプレーを体験してもらい、教員や生徒、町民との交流をスポーツを通じて深めてもらいました。

11月には薬物乱用防止教室を雨竜中学校で開催致しました。小中学生計118名の参加を戴き、赤平ライオンズクラブの北市L講師の下、薬物乱用の恐ろしさについて深く考える貴重な機会となりました。

12月には歳末たすけあい義援金の拠出を実施し、翌年の1月には町こども育成連主催の冬季レクリエーションの金銭アクティビティを行いました。

今年度はさらに、10月に姉妹提携を結んでいる富山県の入善ライオンズクラブ結成45周年事業として合同アクティビティを実施し、富山県アイバンクに協力金

10万円贈呈致しました。LCIF献金(会員一人当たり\$20)も同月に実施致しました。

そして12月には雨竜ライオンズクラブ認証40周年記念アクティビティとして、町内の各施設に記念品を贈呈致しました。

今後は4月に小学校入学式にて、新入学児童へ記念品贈呈並びに交通安全啓発を行います。

そして、5月下旬には雨竜高等養護学校の新1年生を町内公共施設見学に招待し、地域産業等について学んでもらう予定です。

以上の様な活動を通じクラブ一丸となり、これからも奉仕の心で雨竜の未来を創り上げ、積極的に活動を行って参りたいと思っております。



5R3Z

北竜ライオンズクラブ

PR委員長 L小坂 一行

アクティビティ活動報告

今期は第39代会長し板垣義一のスローガン「無理せず、笑顔で社会奉仕」で日々奉仕活動を実践しています。

会員は高齢化により年々減少して28名ですが、例会の出席率は良く、また、奉仕事業の参加も積極的に協力を頂いている。

当クラブの奉仕事業は近年、青少年健全育成を柱として取り組んでいます。その一部を紹介し

① 中学校の部活動支援

現在中学校では野球、バレー、吹奏楽の部活動をやっています。その活動費の一部を助成しています。この支援金贈呈は15年間継続している。

② LC杯小学生バレーボール大会の開催

今年で12回目を実施しました

が、北空知地区の各小学校から8〜10チームの参加があり、試合は毎回白熱して午前9時から午後5時まで熱戦が展開されています。

ライオンズクラブ杯小学生バレーボール大会



③ スポーツ少年団の活動支援
小学校では現在、野球とバレーの少年団があり、学校や地域の有志で活動を支えています。その活動費の一部を助成して3年になりました。

④ ゆきんこまつりの支援

毎年2月11日に実施される町民スキー大会終了後に子供を主役にしたまつりが商工会青年部主催で実施されている。その活動を支援している。

当日はスノーモービル体験搭乗、スノーフラッグ、親子ボブスレー、アイス早食い、お菓子撒きなどが行なわれ町内外からの参加者も多い。

⑤ 日本ハム少年野球教室への支援
最後に将来の地域を支えてくれる子供たちの成長を応援していくことがクラブの誇りであり、社会貢献であると思っています。



4 R I Z

岩見沢はまなすライオンズクラブ

初代会長 L松浦 淳一

『かたい絆で新たなスタート』岩見沢はまなすLC新クラブ結成にあたって

岩見沢はまなすライオンズクラブが新クラブを結成できましたことは、多くの皆様のご指導ご鞭撻があればこそと、改めまして深く感謝申し上げます。新クラブのメンバーにもなる27名は2014年6月末日に札幌中島ライオンズクラブに転籍をさせていただきました。以来、札幌中島ライオンズクラブは、私どものエクステンションに向けて、昼夜を問わない献身的なご指導ご鞭撻を戴き、10月7日にスポンサークラブでもあります札幌中島ライオンズクラブのご指導の下、無事結成会を開催することができ、国際協会への申請へのキックオフとなりました。その間、国際

協会331-A地区ガバナー三沢聖一、前地区ガバナー地区名譽顧問会議長 小野寺眞悟のご指導ご鞭撻を戴き、無事2014年11月17日付けにて国際協会から、日本で3,797番目、複合で260番目、地区で88番目のライオンズクラブとして誕生しました。改めましてご尽力いただいた多くの皆様に深甚なる敬意とお礼を上げます。現在会員が31名ですが、全員が新クラブの誕生した喜びと皆様への感謝の気持ちを胸に刻みこみ、今後ライオンズ活動に邁進していく覚悟でございます。

新クラブのメンバーの平均年齢は56・9歳と若く、今年度のスローガンを『かたい絆で新たなスタート』として、現在までクリスマス家族例会やお祝い例会など、メンバーが信頼し合い、生き生きとした笑顔で活動が続けています。2015年2月26日の認証状伝達式に向けて全員で準備を整えています。チャーターナイト記念事業として、2月9日に岩見沢市立第一小学校にて小学校高学年とPTAの皆様へ薬物乱用防止教室を薬物乱用防止教育講師(ゴールド)を持つている当クラブのL水島教之が行い、クイズ形式などを含めて小学校高学年の児童の皆さんも、積極的に参加していただき、子供たちの生き生きとした笑顔が印象的な薬物乱用防止教室でした。また、来年も実施してほしいとの要望もあり、今後も積極的に活動を続けていくことの大切さを理解しました。このような中にも



2015年2月26日認証状伝達式を迎えます。これからが本格的なスタートです。クラブ全員が一丸となつて『かたい絆で新たなスタート』のスローガンのもと生き生きとした笑顔で活動を推進してまいります。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



1 R3クラブ合同

サッポロシニア札幌中央札幌オーロラライオンズクラブ

札幌オーロラライオンズクラブ会長

L新沼 智美

ポスターコンクールの応募作品、300点を突破

札幌市内の中学生から募集し

ています。「第6回薬物乱用防止ポスターコンクール」の応募作品が、初めて300点を突破、316点にのびりました。1月31日に「東京ドームホテル札幌」で授賞式を開きました。最優秀賞に輝いたのは、豊平区中の島中2年の左右田恵利さん(13)です。わが子の晴れ姿を見ようと、会場には約100人の父兄が訪れました。

このコンクールは、最初オーロラLCと札幌市PTA協議会の共催でしたが、2回目からシニアLC、4回目からは中央LCにも加わって頂いております。1回目は166点の応募で前回は203点でした。今回は、学校数も5校増え、22校316点になり、年々盛んになって来ています。

私の挨拶のあと、地区ガバナー

のL三澤聖一が「子どもらは、明日の日本を担う国の財産です。コンクールを通して薬物の誘惑に負けない青少年になって欲しいです。受賞おめでとうございます」と、祝辞を述べました。

最優秀賞の左右田さんに、L三澤から、ガバナー賞が贈呈されました。優秀賞8点には、3クラブ会長や札幌市、市教育委員会、北海道警察、読売新聞北海道支社、市PTA協議会の代表から表彰状と記念品が贈られました。入選20点、佳作50点にも贈られました。

表彰状伝達の前に、道警察生活安全部の宮下英昭少年課長補佐から、薬物についての講話があり、大きな社会問題になっている危険ドラッグなどについて、パワーポイントを使いながら話し

ました。

審査委員長の道イラストレーターズクラブa会の佐藤正人名誉会長が「年々、レベルが高くなっています。左右田さんの作品は、色づかい、色のバランスも良く、メッセージ性もある素晴らしい作品です」と、講評しました。

左右田さんは「薬物は事故や事件につながる危険なもの。ポスターを通して関心を持って欲しい。最優秀賞に選ばれるとは思いませんでした」と授賞の喜びを語りました。前回は入選で、今期の第3回国際平和ポスターコンテストでも入選しています。

各クラブが開催しています薬物乱用防止の「出前講座」とポスターコンクールの2本立てで、子どもが薬物に汚染されず、スクスクと成長する事を願っています。



ポスターは300枚を制作し、市内の中学校やスキノのビルに張り出されます。全作品の展示会は、3月30日、31日に地下歩行空間で開きます。

1 R 1 Z

サッポロシニアライオンズクラブ

「ライフスキル研究会」を立ち上げ

「ライフスキル研究会を立ち上げます」豊平区東園小学校の石山栄次教諭が2月4日、当クラブの「招待例会」で表明しました。誕生すると鹿児島に次いで2番目になります。招待例会には、1月のワークショップ(WS)、フオローアップ・ワークショップ(FWS)に当クラブのお声がかかりで参加した先生方など8人が、出席しました。

ライオンズクエスト(LQ)のWS(研究会)は、「思春期のライフスキル教育」がテーマです。青少年が、失敗したり、挫折したり、大きな困難に直面した時に、どのようにして切り抜けるかの知恵を授けるのがライフスキル(生きる力)教育です。東京の専任講師・篠田康人さんが、参加した先生方に、知恵を伝授、教壇で生かして貰う事になっています。

FWS(1日)は、WS(2日間)を受講した先生が受け、ライフスキル教育にさらに磨きを掛けます。石山教諭はWS2回、FWSは11回も受け、道内でLQに最も精通しています。教諭の奥さん、道

教育大生だった息子さんも受講、「LQ一家」です。

石山教諭は「研究会は、先生方の交流の場です。LQのプログラムの実践を持ち寄って、成果や課題を交換する中で、アドバイスがあったり、プログラムの改善、開発をしたりします。人は、人に指摘されても変わりません。LQは様々な活動を通して、子どもらに気付かせて行動変容を期待するプログラムです。6月には、研究会を立ち上げます。ライオンズクラブの支援をお願いします」と、強調しました。

当クラブの招待例会は、小生が2009年に地区ライオンズクエスト委員長をやつてから始めました。これまでに11回、開いていますが、8人の出席は最多です。1月のWSでは、参加者35人中、当クラブ関係が13人、FWSは5人中3人でした。

小生は、09年から年2回開かれているWS、FWSに全部、顔を出しています。参加した先生方と顔つなぎをし、例

会に招待する。メンバーが、先生方と交流し、LQへの理解を深める。先生方には、LCのボランティア活動を認識して貰い、教師仲間にもLQの良さを宣伝して頂く。先生方の口コミで、WSの参加者が増えています。

招待例会で、中央区円山小の水島誠治校長が「うちの学校からは、今回若手の先生が2人参加しました。本当に良かった。すぐにでも授業に生かしたいと報告していました」、白石区幌東中学校の小林八重子養護教諭は、FWSを6、7回受講しているベテラン。「自分自身が好きだと思ふ子は5%しかいません。自己肯定感が少ないのです。肯定感を高めるライフスキル教育は有効です」と力説する。

道立教育研究所(江別)の篠原寛之、研究研修主事もFWSを5、6回受講、良き理解者です。「FWSを受け、自分を見直す機会が出来ました。LQで学んだ事を、学校の先生にエッセンスでも伝えたい。教育界に新しい風を吹かせたい。石山先生をサポート、研究会で学ばせて貰います」と、力強く後押ししました。保育士さんや市の職員からも、WSを絶賛しました。

幹事 L森 一男

研究会の立ち上げに、当クラブのメンバー全員が大賛成。先輩ライオンで医師のL長澤大七は「WSには、保育士さんも参加しており、私は幼児期からこのような教育は大事だと思っていました。研究会の誕生は、本当に喜ばしい。クラブを挙げて応援しましょう」とエールを贈り、出席者から大きな拍手が巻き起こりました。

山は、動いた。キャビネットも力を入れるライオンズクエスト事業は、10年目を迎え、新時代が訪れようとしています。





1 R1Z2クラブ合同

サッポロシニア・札幌コスミックシニアライオンズクラブ

新成人のお祝いを贈り激励

サッポロシニアライオンズクラブ
PR委員長 L木村 明夫

私たち2クラブは、10年以上も前から児童養護施設「札幌育児園」(南区藤野)と絆を強めています。嬉しい話を2話、お届けします。

【第1話】

妹クラブのコスミックシニアLCから1月4日の在札39LC新年交礼会の席上「育児園の女性園児のK子さんが新成人を迎えます。お祝いのドネーションをしてくださいませんか」と言われ、シニアからの参加者が千円を出しました。コスミックの分を含め、育児園に贈りました。

千葉徹施設長から間もなくして礼状と新成人の写真が届きました。「K子の振袖姿を見て、2歳で入所した頃を思い出して涙が出てしまいました。K子は4月から江別の高齢者施設で介護の仕事に就き、たくさんの人に支えられてきた感謝を社会福祉の援助者として、社会に恩返ししていきたいと考えております」

K子さんからの礼状も同封されました。「理事長をはじめ園長や育児園の先生方にも着物姿を見せることが

出来て本当に良かったです。成人として恥ずかしくない行動をしていきたいと思えます」。しっかりした文字に、しっかりした文面でした。

育児園では19歳までしか生活出来ません。千葉施設長の計らいで、K子さんは福祉の専門学校にも通い、20歳まで居る事が出来ました。K子さんにとっては千葉さんは父親のような存在でした。卒園者が、施設で働くのは初めてです。

シニアLCでは、例会で礼状を紹介「K子さんに就職祝いもあげよう」と、ドネーションを呼び掛けました。1万5千円が集まり、贈りました。K子さんから再び礼状が来ました。「育児園にいたことで、様々の方達との出会いがありました」。

感謝の気持ちがつづられていました。家庭的に恵まれない環境で育った園児は暗くなりがちです。育児園のぬくもりを全員が享受、明るく生活しています。K子さんは4月から社会人。がんばれ。

ジャンケン娘に優秀賞

【第2話】

キャビネット主催の第3回国際平和ポスター・コンテストの表彰式が1月9日、市教育文化会館で開かれました。シニアLCが担当した手稲中の1年生が最優秀賞に選ばれ、荒川美和子会長と森一男幹事も出席しました。

式場に現れたのは予想もしなかった育児園の「ジャンケン娘」と石山南小6年のH子さんでした。H子さんは、毎年9月に開かれるシニア農園の収穫祭に参加しています。農園での汗を流し、京極温泉で休みしている時に「おじさん、ジャンケンしよう」と誰にでも声を掛ける気さくな明るい女の子です。

コスミックシニアLCの高橋幹事が育児園にコンテストの出品を働きかけました。H子さんとR男君の2人が応募、H子さんは優秀賞に輝き、R男君は入選でした。驚いたのは、絵のモデルでした。森幹事です。ゴツイ顔、頭が薄いので直ぐに分かりました。パレイシヨとトウキビを手にするのどかな農村風景。平和ポスターと言えば、ハトや万国旗が定番

です。

平和な光景に目をつけた審査員も道教育大岩見沢校の阿部宏行准教授にも敬意を表します。

森幹事は、モデル料として2千円を贈ったそうです。H子さんもR男君も4月からは、石山中の1年生。明るい、大きな未来が、待っています。



平和ポスターコンテストの優秀賞 鳴海遥さんの作品

札幌アカシヤライオンズクラブ

たけうち こういちろう
L竹内 幸一郎

(株)クラブ 代表取締役

■〒001-0035
札幌市北区北35条西5丁目1-18
TEL.011-299-3966
■生年月日 1976年5月10日

入会:2015年1月21日 スポンサー:L 京極 琢弥



札幌ライオンズクラブ

うら まさとし
L浦 昌利

(株)進学舎 代表取締役

■〒060-0007
札幌市中央区北7条西20丁目1-8 SKビル
TEL.011-621-3800
■生年月日 1967年4月4日

入会:2015年1月15日 スポンサー:L 菅原 雅之



札幌ポプラライオンズクラブ

かわぐち じゅん
L川口 淳

(株)ファインドリームス 代表取締役社長

■〒001-0015
札幌市北区北15条西4丁目2-16 NRKビル3F
TEL.011-700-1001
■生年月日 1974年6月25日

入会:2015年2月26日 スポンサー:L 鏡 庄吾



札幌赤レンガライオンズクラブ

きむら みつはる
L木村 光治

社会医療法人康和会 札幌しらかば台病院 常務理事

■〒062-0052
札幌市豊平区月寒東2条18丁目7-26
TEL.011-852-8866
■生年月日 1953年2月15日

入会:2014年12月1日 スポンサー:L 栃木 行雄



札幌西ライオンズクラブ

こばやし やすみ
L小林 泰巳

(株)んけい 取締役

■〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条4丁目6-3
ターミナルビル3F
TEL.011-699-6974
■生年月日 1969年11月3日

入会:2015年2月24日 スポンサー:L 船越 琢司



札幌エルムライオンズクラブ

いまい みちこ
L今井 道子

(株)サマンサ企画 代表取締役

■〒064-0806
札幌市中央区南6条西3丁目 ジョイフル札幌7F

■生年月日 1963年10月8日

入会:2015年2月10日 スポンサー:L 秋庭 一富



札幌西ライオンズクラブ

よしだ まこと
L吉田 真人

(株)健壯院 常務取締役

■〒063-0033
札幌市西区西野3条1丁目3-10
TEL.011-665-1173
■生年月日 1976年6月5日

入会:2014年12月9日 スポンサー:L 後藤田 栄貴



札幌もいわライオンズクラブ

みょうどう ともつぐ
L明道 知嗣

(株)明道香風園 代表取締役社長

■〒064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目12
TEL.011-511-1970
■生年月日 1967年2月20日

入会:2015年1月15日 スポンサー:L 島口 義弘



～美しい夕日が見える田園都市ながぬま～

長沼ライオンズクラブ

会長スローガン「共に支え合おうライオンズの絆」

L秋田 政行 L池田 晃 L上田 武久 L内田 和幸 L梅内 栄二 L加藤 照雄 L駒谷 敏
L駒谷 広栄 L坂下 一彦 L笹浪 崇 L渋谷 学 L高田 賢一 L田中 正憲 L戸川 雅光
L中野 明義 L中野 政光 L中原 久勝 L中村 豊 L廣岡 雅浩 L広川 朝夫 L松尾 洋治
L松嶋 隆敏 L松宮英太郎 L山上八重子

会員数24名(五十音順)

事務局 夕張郡長沼町本町北1-2-8 TEL・FAX 0123-88-1418 Email naganumalc@amail.plala.or.jp





雨竜ライオンズクラブ

ふじえ ひでとし
L 藤江 秀俊

(株)フジエファーム 代表取締役

■〒078-2636
雨竜郡雨竜町第6町内の2
TEL.0125-78-3725
■生年月日 1952年2月17日

入会:2015年1月1日 スポンサー:L 村本 幸二



岩見沢中央ライオンズクラブ

よしなり みちこ
L 吉成 美智子

光和ビル管理棟

■〒068-0834
岩見沢市美園4条1丁目1-3
TEL.0126-24-6474
■生年月日 1937年6月26日

入会:2015年1月22日 スポンサー:L 九津見紳一朗



当別ライオンズクラブ

なかえ つとむ
L 中江 勉

日本郵便(株)中小屋郵便局 局長

■〒061-0211
石狩郡当別町中小屋1703-8
TEL.0133-27-2040
■生年月日 1954年7月8日

入会:2015年2月1日 スポンサー:L 安藤 頼孝



由仁ライオンズクラブ

つちや くにあき
L 土谷 邦明

榊志援 サンヴィレッジ栗山施設長

■〒069-1512
夕張郡栗山町松風3丁目45-1
TEL.0123-73-5777
■生年月日 1971年5月26日

入会:2015年2月18日 スポンサー:L 大谷 健治



石狩ライオンズクラブ

きむら ひでひろ
L 木村 秀裕

札幌信用金庫石狩支店 支店長

■〒061-3216
石狩市花川北6条1丁目4
TEL.0133-72-3311
■生年月日 1960年6月5日

入会:2015年1月22日 スポンサー:L 渡部 俊治



砂川ライオンズクラブ

こんどう けんいち
L 近藤 健一

鹿島環境エンジニアリング(株)北海道支店 支店長

■〒073-0138
砂川市豊沼町1
TEL.0125-52-3546
■生年月日 1969年10月16日

入会:2015年1月1日 スポンサー:L 北谷 文夫



石狩ライオンズクラブ

たなか あきら
L 田中 陽

(株)陽建工業 代表取締役

■〒061-3207
石狩市花川南7条2丁目122
TEL.0133-62-9014
■生年月日 1980年9月17日

入会:2014年12月3日 スポンサー:L 村上 求



深川ライオンズクラブ

たかくら まさかず
L 高倉 正和

旭川トヨペット 支店長

■〒074-0004
深川市4条24番2号
TEL.0164-23-3554
■生年月日 1966年2月27日

入会:2015年2月1日 スポンサー:L 増永 博志



PUB SPOT

川上商店

代表

川上

貴代

Kawakami Yoshinori

札幌市中央区南7条西4丁目LC七番館ビル(旧スターパレス)

TEL 011-532-8008 OPEN 8:00PM~4:00AM

〈札幌北の杜ライオンズクラブ会員広告〉

◇ **会員動向**

		331-A地区						
		1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
期首	LC数	14	16	9	11	15	8	73
	会員数	586	568	364	312	450	336	2,616
	内、家族会員数	116	90	35	19	6	21	287
12月末	LC数	14	16	9	12	15	8	74
	会員数	582	598	388	363	446	360	2,737
	内、家族会員数	129	120	56	34	5	27	371
1月末	LC数	14	16	9	12	15	8	74
	会員数	593	606	392	362	490	363	2,806
	内、家族会員数	139	130	61	37	50	27	444
期首～1月末 会員増減数		7	38	28	50	40	27	190

◇ **アクティビティ活動状況**

	12月計		1月計		2014～2015年度 累計	
金額アクティビティ	112件	9,974,270円	76件	9,392,727円	891件	91,021,617円
事業資金獲得	23件	1,101,200円	2件	786,046円	49件	11,630,731円
労力アクティビティ	63件	1511H	55件	1901H	645件	25196H
献血	5件	434,000cc	9件	195,400cc	102件	1,993,400cc
アイバンク登録者	0人		0人		32人	
角膜提供者	0人		0人		0人	
薬物乱用防止教室 開催件数	20件		4件		59件	
薬物乱用防止教室 動員数	2,151名		530名		5,873名	
使用済み切手	444,560枚		164,788枚		1,458,590枚	
書き損じ葉書	107枚		123枚		973枚	
使用済みプリカ	0枚		35枚		272枚	
例会、アクティビティ等の招待者数	728名		78名		1,671名	

◇ **LCIF拠金集計表**

	12月分集計	1月分集計	2014～2015年度 累計
クラブ数	10	20	100
人数	7人	34人	140人
金額	826,000円	4,144,800円	15,353,800円

[12月分]

L 谷 征輝	(札幌)	9回目
L 鶴嶋 浩二	(札幌中島)	35回目
L 助光 重宣	(札幌あさひ)	1回目
L 大笹 進	(札幌時計台)	4回目
L 諏訪 昇三	(札幌時計台)	12回目
L 村太 悦郎	(札幌時計台)	7回目
L 山田 忠明	(滝川中央)	29回目

L 高橋 義孝	(札幌中島)	5回目
L 小玉 享幸	(札幌中島)	7回目
L 新屋 雅良	(札幌中島)	5回目
L 中野 正敬	(札幌中島)	6回目
L 松田 真一	(札幌中島)	6回目
L 鬼頭 直樹	(札幌中島)	6回目
L 土蔵 知恵朗	(札幌中島)	5回目
L 奥山 竜也	(札幌中島)	5回目
L 大島 一雄	(札幌中島)	5回目
L 浅野 盛光	(札幌中島)	6回目
L 田嶋 祐介	(札幌中島)	5回目
L 今田 卓也	(札幌中島)	5回目
L 石田 利之	(札幌中島)	6回目
L 米地 理	(札幌中島)	6回目
L 大嶋 武	(札幌中島)	5回目
L 佐々木 直人	(札幌中島)	1回目
L 広瀬 正人	(札幌中島)	1回目
L 野口 和広	(札幌中島)	1回目
L 塩崎 康男	(札幌西)	2回目
L 堀 広一	(月形)	1回目
L 林 孝幸	(滝川中央)	17回目
L 山下 克明	(滝川中央)	1回目

[1月分]

L 大澤 照道	(札幌中島)	6回目
L 岡本 代司江	(札幌中島)	5回目
L 金子 雅行	(札幌中島)	6回目
L 高橋 常代	(札幌中島)	12回目
L 津村 進	(札幌中島)	12回目
L 鶴嶋 浩二	(札幌中島)	36回目
L 橋本 一将	(札幌中島)	7回目
L 濱口 敏博	(札幌中島)	5回目
L 三木 正俊	(札幌中島)	13回目
L 矢野 富夫	(札幌中島)	13回目
L 山下 秀吾	(札幌中島)	5回目
L 井上 清	(札幌中島)	5回目

厚別区でアパートのご用命は

東区

白石区

厚別区

豊平区

清田区

**BUILDING**

MANSHON OWNER

代表 関 義孝

〒004-0055 札幌市厚別区厚別中央5条3丁目4番16号 セキビル4F
TEL:011-891-2003 MOBILE:090-3399-0266
E-mail:seki1153@yc5.so-net.ne.jp

〈札幌新星ライオンズクラブ会員広告〉



千春鮎

**冷凍魚を使用せず。米は極上。
わさびは信州穂高産本わさび。**小樽店を含め沢山のお客様にお越し頂いております。これも一重に永年千春鮎を支えてくれた皆様方のお陰と、こころより感謝申し上げます。
これからも初心を忘れず、千春鮎本来のスタイルで頑張っております。

店長 土田 英樹



千春鮎 すすきの店

TEL.011-520-3213

札幌市中央区南6条西3丁目秋水ビル1F 営業時間10:30~23:00

訃報

心より、ご冥福をお祈り申し上げます。



札幌大通ライオンズクラブ

L 鷺田 久三

2015年1月16日(享年81歳)

ライオン歴

- 1973年3月 札幌アカシヤライオンズクラブ入会
- 1991年3月 札幌大通ライオンズクラブチャーターメンバー
- 1992年～1993年 第二副会長
- 1993年～1994年 第一副会長
- 1994年～1995年 会長
- 1995年～1996年 前会長
- 1999年～2000年 アイヘルス委員長
- 2002年～2003年 諮問委員会議長
- 2004年～2005年 会計監査
- 2006年～2007年 理事二年
- 2007年～2008年 理事一年・会計監査
- 2010年～2011年 理事一年・公衆安全環境保全委員長
- 2012年～2013年 会員理事一年・会員委員長



代表取締役社長 **三澤 聖一**

「セリオむすめや」
安心の理由

創業以来74年間の実績

昭和16年の創業以来お客様からご愛顧いただき、豊富なノウハウと誠実な対応でご信頼にお応えしています。

葬儀会社格付「五つ星」を取得

ISO9001を取得する格付機関「JECIA-ジェシア（日本儀礼文化調査協会）」が行った現地調査と利用者へのアンケートを元に最高の評価「★★★★」に認定されました。



ご家族だけの葬儀から社葬まで、安心の葬儀をお約束いたします。

豊平区 むすめやホール 平岸

〒062-0935 札幌市豊平区平岸5条13丁目 ☎(011)824-2141

手稲区 むすめやホール ていね

〒006-0814 札幌市手稲区前田4条8丁目 ☎(011)684-4444

南区 むすめやホール もなみ

〒005-0810 札幌市南区川沿10条1丁目 ☎(011)573-1144

白石区 むすめやホール 白石

〒003-0012 札幌市白石区中央2条3丁目 ☎(011)814-1144

厚別区・清田区 むすめやホール 厚別

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条2丁目 ☎(011)891-1155

西区 むすめやホール 西町

〒063-0061 札幌市西区西町北8丁目 ☎(011)661-1144

中央区 札幌中央斎場

〒064-0806 札幌市中央区南6条西2丁目 ☎(011)511-8844

北区 むすめやホール しのろ

〒002-8022 札幌市北区篠路2条7丁目 ☎(011)774-0044

東区 むすめやホール 元町

〒065-0021 札幌市東区北21条東15丁目 ☎(011)721-1144

江別市 むすめやホール 大麻

〒069-0854 江別市大麻中町26番地 ☎(011)387-1144



女性向け葬壇
「ヴィーナス・ストーリー」



24時間
対応!!

「もしも」の時は
お電話を
ホームページ

☎0120-58-1083
<http://www.musumeya.co.jp/>

本部 / 〒003-0012 札幌市白石区中央2条3丁目 TEL. (011)811-0093(代) FAX. (011)811-0472 本社 / 〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5番地



真言宗 智山派

湯殿山 弘因寺

護摩修法御祈願
御本尊大祭祈願
節分会御祈願
先祖供養
お盆法要
お彼岸(春・秋)法要
年回忌法要
お葬儀



真言宗智山派 湯殿山 弘因寺

第七世位職 齋藤 昭晋

寺院沿革

開山上人	遠藤 明淳	和尚
二世位職	天野	和尚
三世位職	齋藤 因嶺	和尚
四世位職	齋藤 永信	和尚
五世位職	齋藤 永純	和尚

寺院歴史

開山(明治17年)1884年 湯殿山大日坊末開山上人遠藤明淳和尚が出張所をこの地に建立。
当時の地域は豊平6番地で生活窮困者の多い、いわゆる堀立小屋式の住居が相当期間続いた。
開山上人 明淳和尚は、迂説法方式で布教に努め生活窮困者のよき相談相手で大変喜ばれた
という。大正期に湯殿山住連寺末齋藤因嶺和尚が昭和5年(現)本堂を建立致しました。

〒062-0905

札幌市豊平区豊平5条1丁目2-27

電話:011-822-4032 FAX:011-822-7191



滝川中央ライオンズクラブ、今年度会長テーマでもある「一人一人の元気で笑顔になる奉仕」を念頭に、障がい者の方や、助けを必要とする方へ、私達の出来る事を、一人一人の元気で奉仕をしてきました。これからも、求められる奉仕のマッチングを探りながら続けて行きます。

－2014年8月8日－
障がい者水上スポーツ体験学習資金造成チャリティの集い

＊
－2014年8月24日－
障がい者水上スポーツ体験学習開催

＊
－2014年10月6日－
空知管内11チームが参加した
「第15回滝川中央ライオンズカップ中学生8人制サッカー大会」開催

＊
－2014年10月12日－
医療ケア付き難病児キャンプ施設「公益財団法人そらぶちキッズキャンプ」へ
ストレッチャー付き牽引そり、カナダから輸入寄贈



滝川市へ、水上スポーツ用カヌーの寄贈

滝川中央ライオンズクラブ

会長.L新井 清己、幹事.L山下 克明、会計.L三戸部 隆、PR委員長.L坂井 英明


■会長テーマ

「一人一人の元気で笑顔になる愛の奉仕」

■会長基本方針

例会出席とメイク・アップ、委員会活動の活性化、会員維持と会員増強、100%例会の実施

(事務局) 滝川市大町1丁目8番1号産経会館2F
TEL.0125-24-5331 FAX. 0125-23-7933 tc-lions@amber.plala.or.jp

 滝川中央ライオンズクラブFacebookページ